

第3章
子育て支援サービスの現状と
今後の利用希望

第3章 子育て支援サービスの現状と今後の利用希望

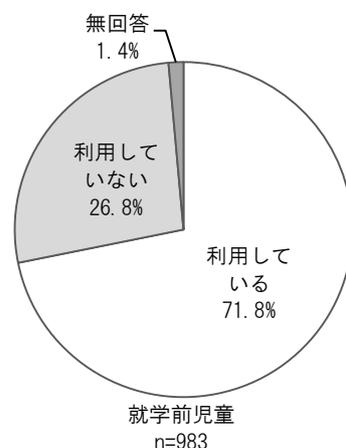
1 平日の定期的な教育・保育事業の現状と今後の利用希望

(1) 平日の定期的な教育・保育事業

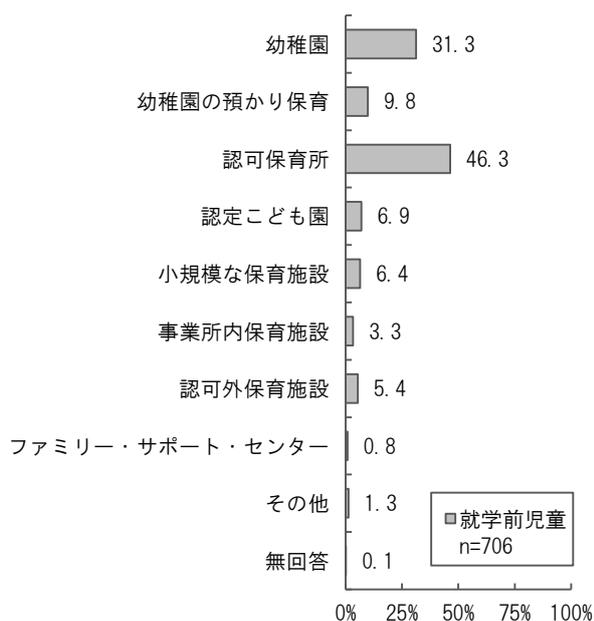
○定期的な教育・保育事業を「利用している」方は71.8%となっています。

○利用している事業と利用を希望する事業をみると、ともに「認可保育所」(46.3%・56.5%)が最も高く、次いで「幼稚園」(31.3%・52.6%)となり、利用を希望する事業では「幼稚園の預かり保育」「認定こども園」(各30.2%)で3割と高くなっています。

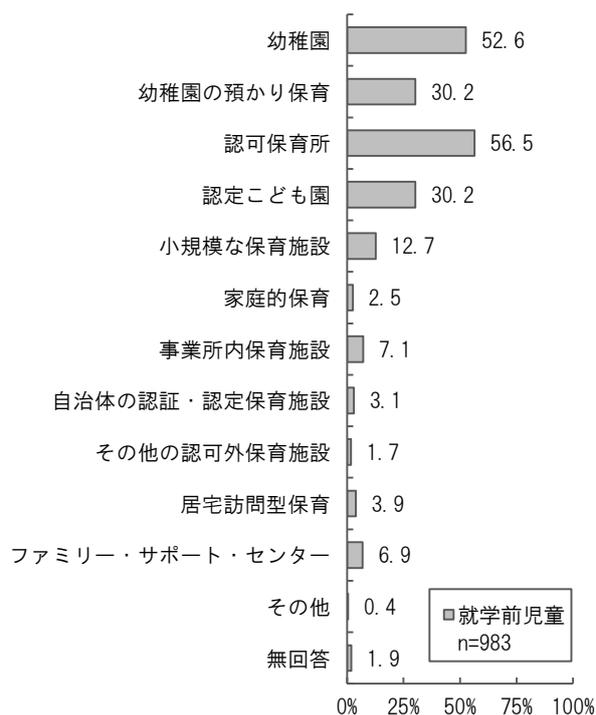
問15 定期的な教育・保育事業の利用状況



問15-1 定期的な教育・保育事業の利用状況
《複数回答》

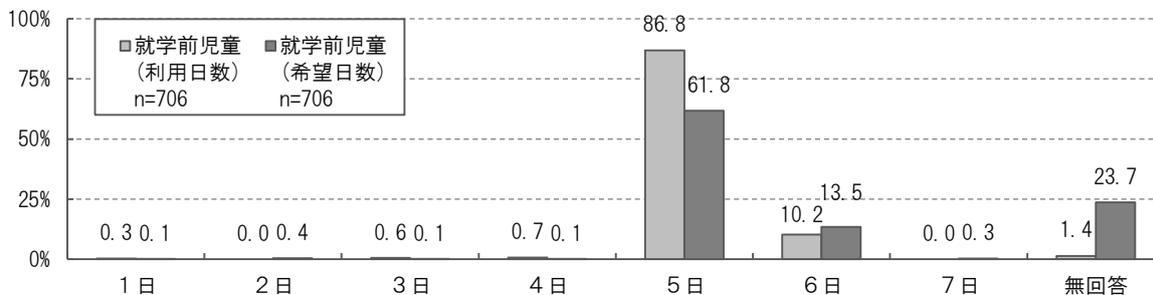


問16 希望する定期的な教育・保育事業
《複数回答》

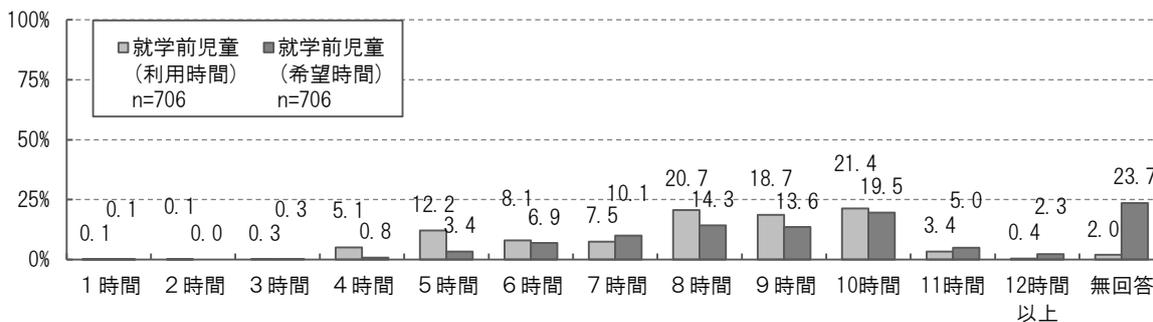


- 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数をみると、いずれも「5日」(86.8%・61.8%) が最も高くなっています。
- 利用時間・希望時間ともに「10時間」(21.4%・19.5%) が最も高くなっています。

問15-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用日数と希望日数(1週当たり)



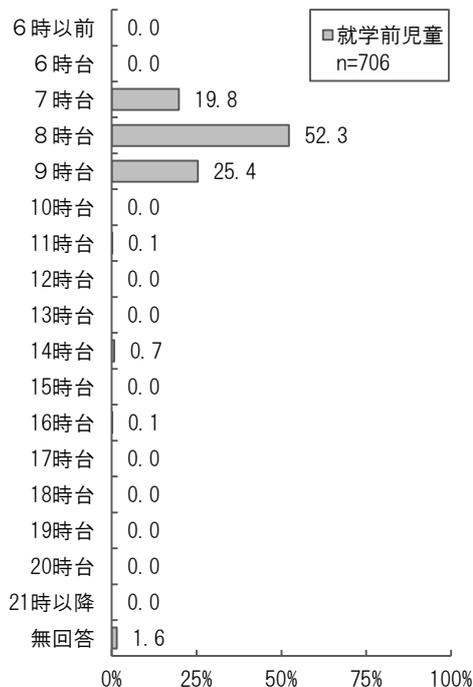
問15-2(1)(2) 定期的な教育・保育事業の利用時間と希望時間(1日当たり)



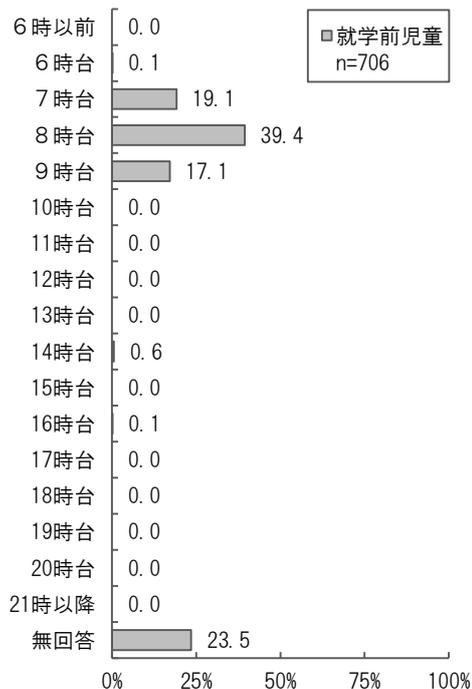
○利用開始時間・希望開始時間ともに、「8時台」(52.3%・39.4%)で最も高くなっています。

○利用終了時間・希望終了時間ともに、「17時台」(32.6%・23.9%)で最も高くなっています。

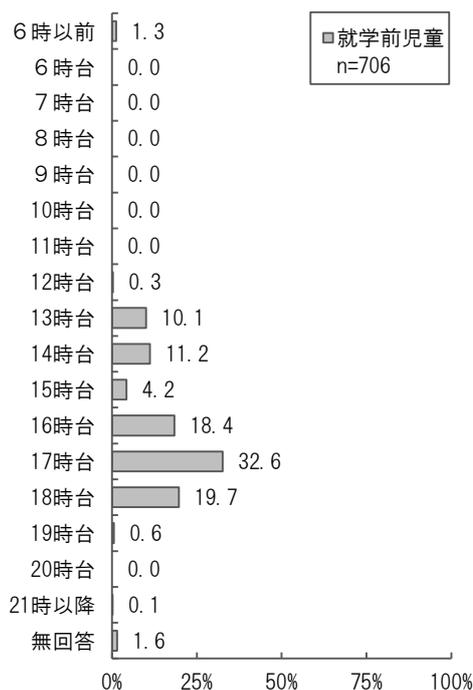
問15-2(1) 利用開始時間



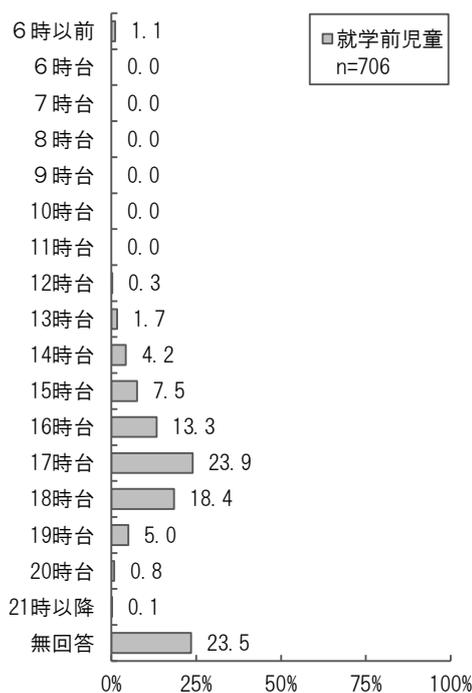
問15-2(2) 希望開始時間



問15-2(1) 利用終了時間

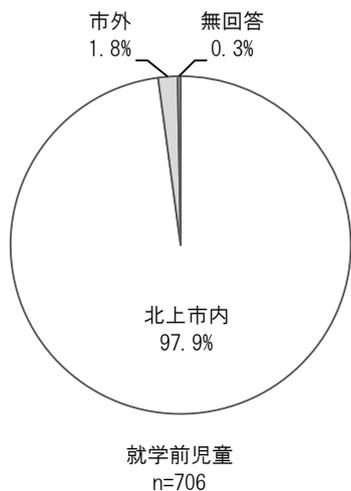


問15-2(2) 希望終了時間

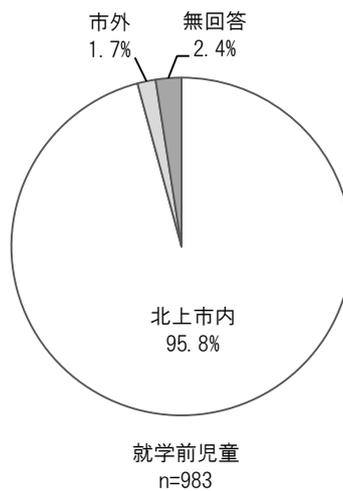


- 現在利用している教育・保育事業の実施場所、また、教育・保育事業を利用したい実施場所は、いずれも「北上市内」(97.9%・95.8%)が9割以上を占めています。
- 「幼稚園」または「幼稚園の預かり保育」の利用希望があり、かつ、その他の教育・保育事業にも利用希望がある方のうち、特に幼稚園の利用を強く希望していると回答した方は、55.8%となっています。

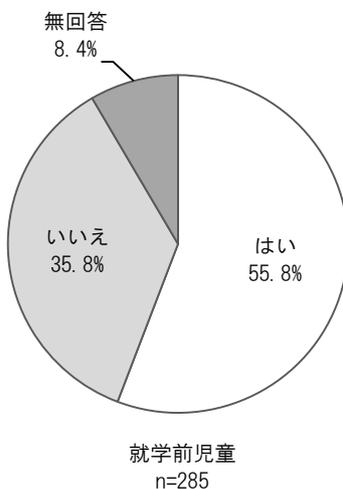
問15-3 教育・保育事業の実施場所



問16-1 教育・保育事業の希望実施場所



問16-2 幼稚園の利用を強く希望



① 幼稚園利用者の状況

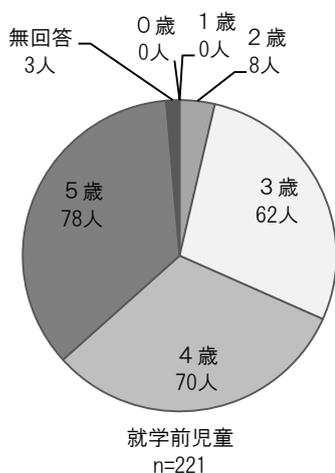
○幼稚園利用者221人の年齢の内訳は、以下のとおりです。

○幼稚園を利用している理由は、「子どもの教育や発達のため」(93.2%)が最も高く、次いで「子育てをしている方が現在就労している」(47.5%)となっています。

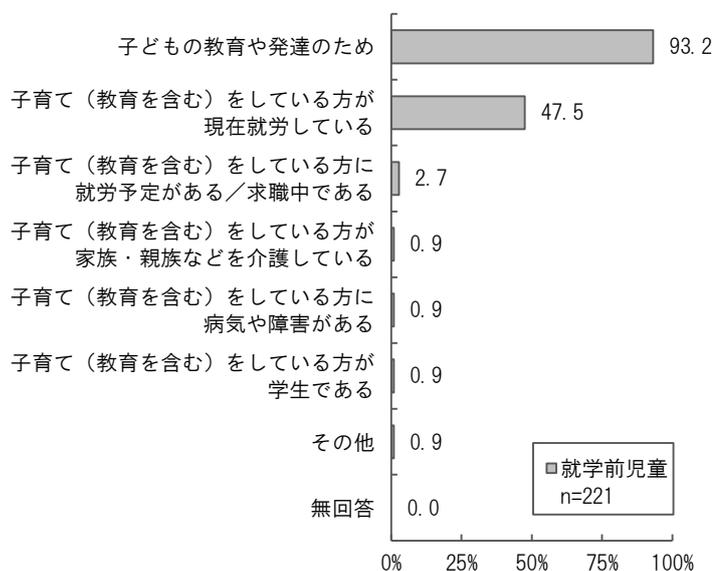
○1週当たりの利用日数・希望日数ともに、「5日」(96.8%・67.4%)が最も高くなっています。

○1日当たりの利用時間は「5時間」(34.8%)、希望時間は「7時間」(19.0%)が最も高くなっています。

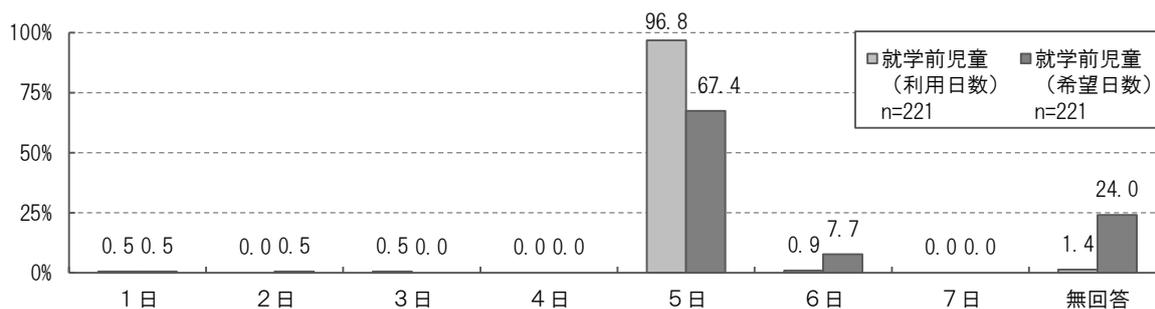
問15-1.1 年齢別利用者数



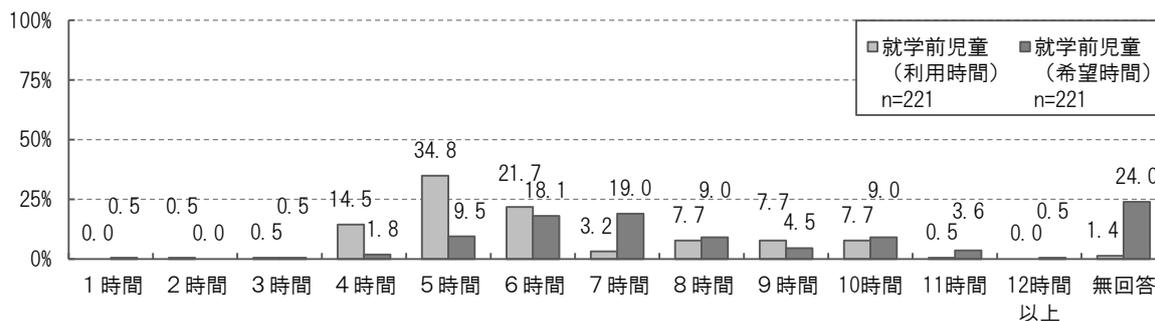
問15-4 利用している理由《複数回答》



問15-2(1)(2) 利用日数と希望日数 (1週当たり)



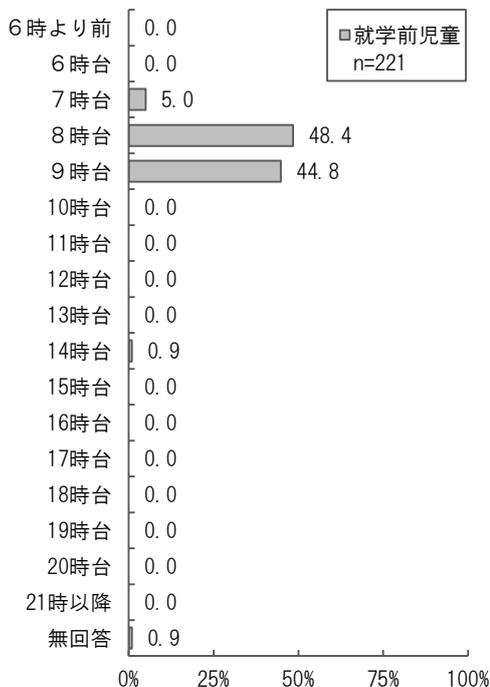
問15-2(1)(2) 利用時間と希望時間 (1日当たり)



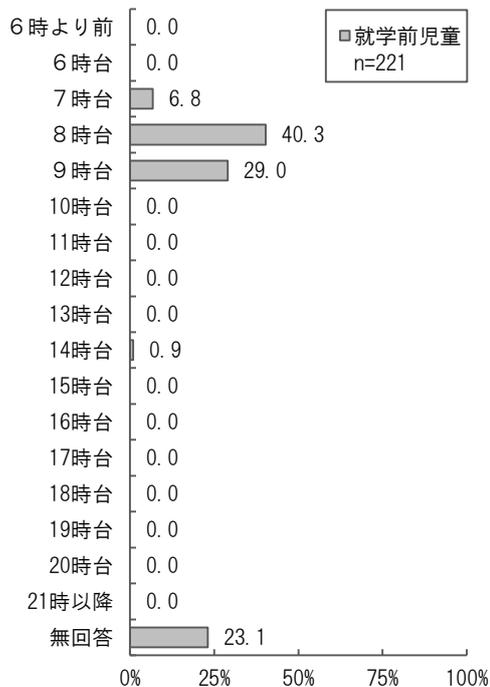
○利用開始時間・希望開始時間ともに、「8時台」(48.4%・40.3%)が最も高くなっています。

○利用終了時間は「14時台」(33.9%)、希望終了時間は「15時台」(18.6%)が最も高くなっています。

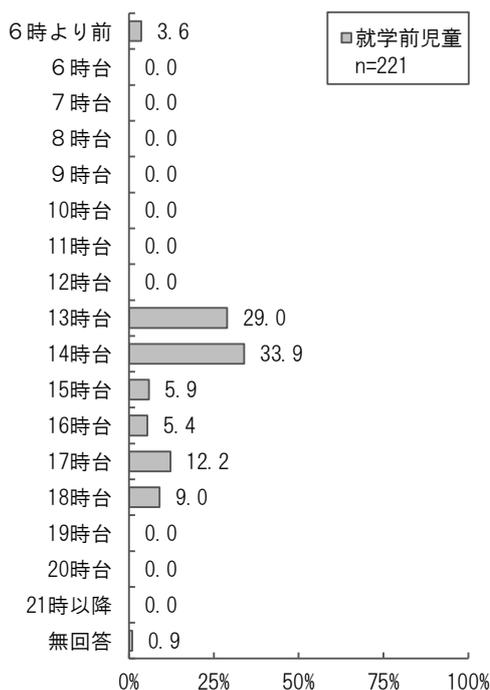
問15-2(1) 利用開始時間



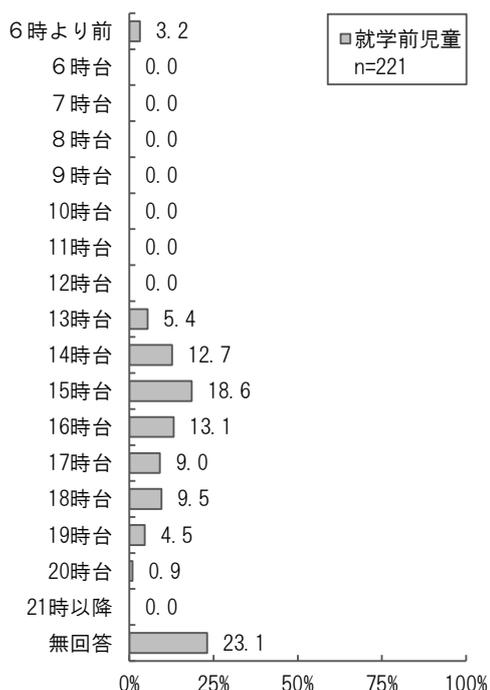
問15-2(2) 希望開始時間



問15-2(1) 利用終了時間



問15-2(2) 希望終了時間



② 幼稚園の預かり保育利用者の状況

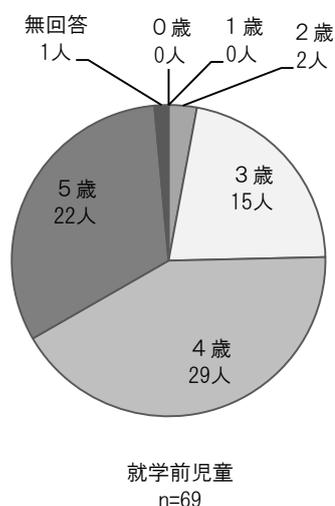
○幼稚園の預かり保育利用者69人の年齢の内訳は、以下のとおりです。

○幼稚園の預かり保育を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」(87.0%)が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(81.2%)となっています。

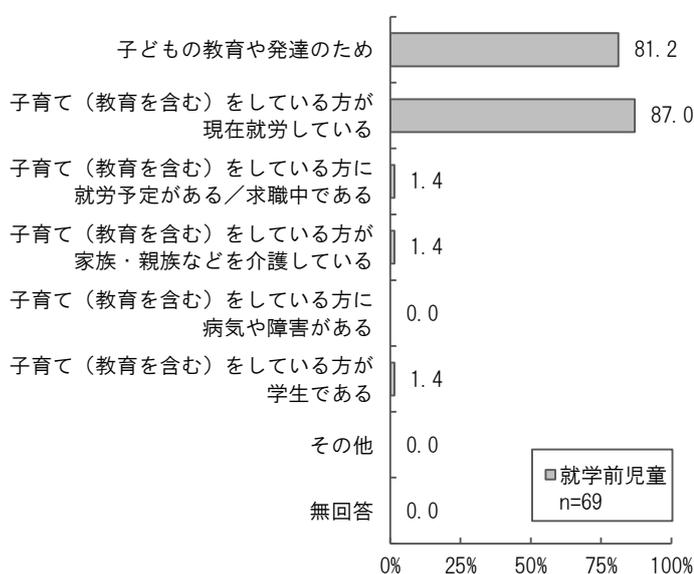
○1週当たりの利用日数・希望日数ともに、「5日」(91.3%・56.5%)が最も高くなっています。

○1日当たりの利用時間は「8時間」「9時間」(各21.7%)、希望時間は「10時間」(18.8%)が最も高くなっています。

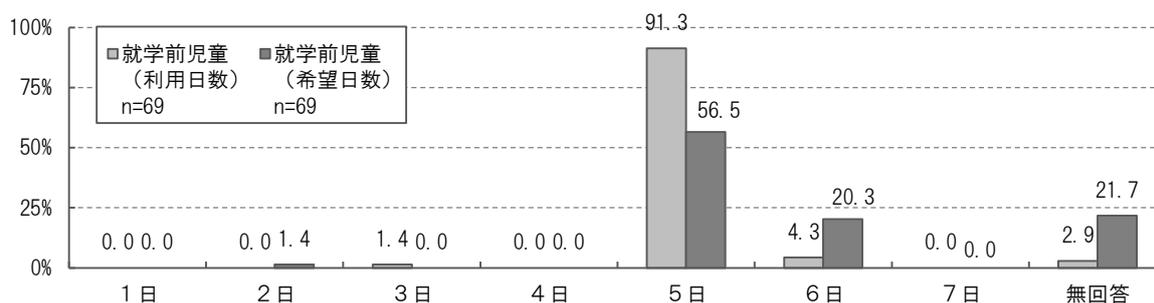
問15-1.2 年齢別利用者数



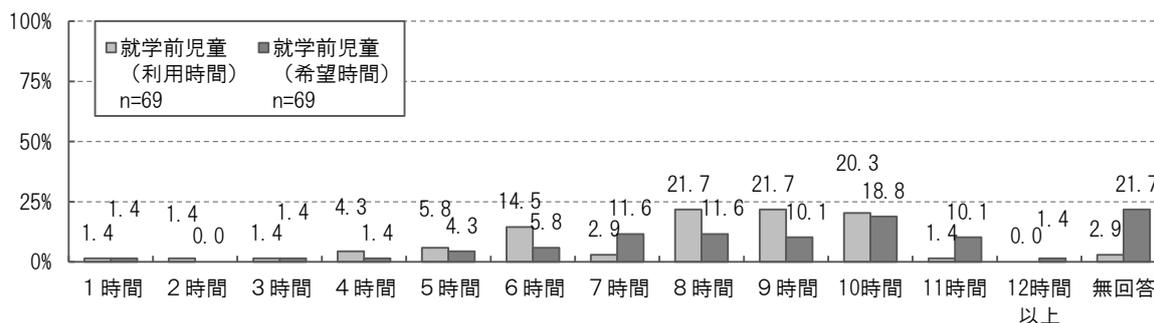
問15-4 利用している理由《複数回答》



問15-2(1)(2) 利用日数と希望日数(1週当たり)



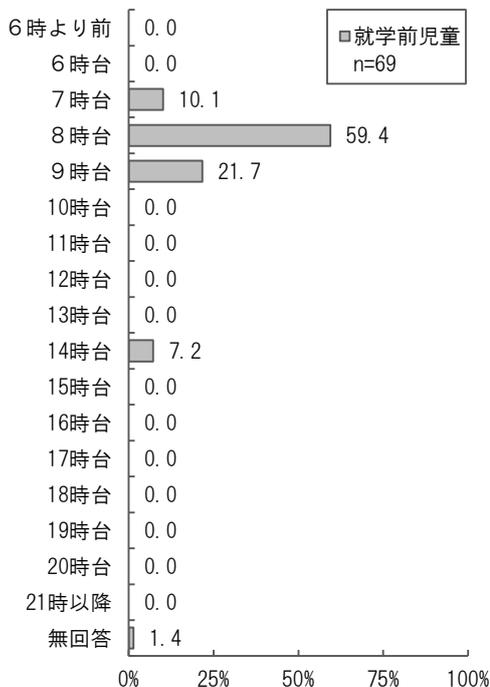
問15-2(1)(2) 利用時間と希望時間(1日当たり)



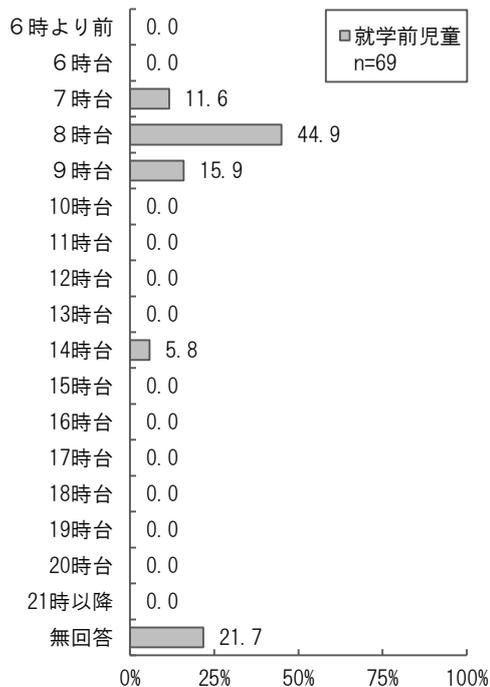
○利用開始時間・希望開始時間ともに、「8時台」(59.4%・44.9%) が最も高くなっています。

○利用終了時間は「17時台」(36.2%)、希望終了時間は「18時台」(24.6%) が最も高くなっています。

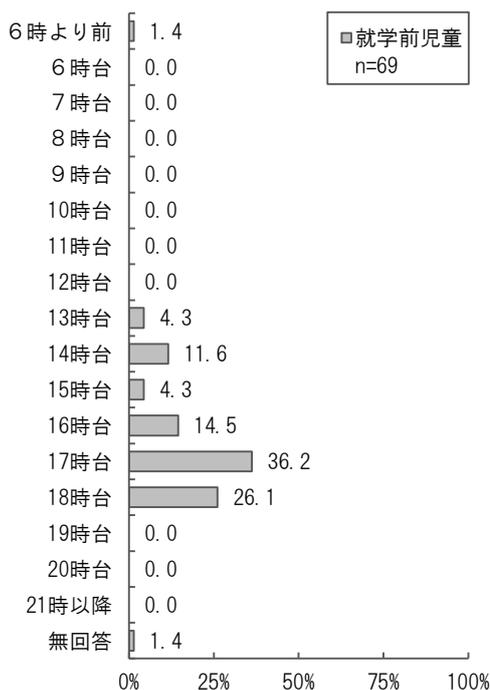
問15-2(1) 利用開始時間



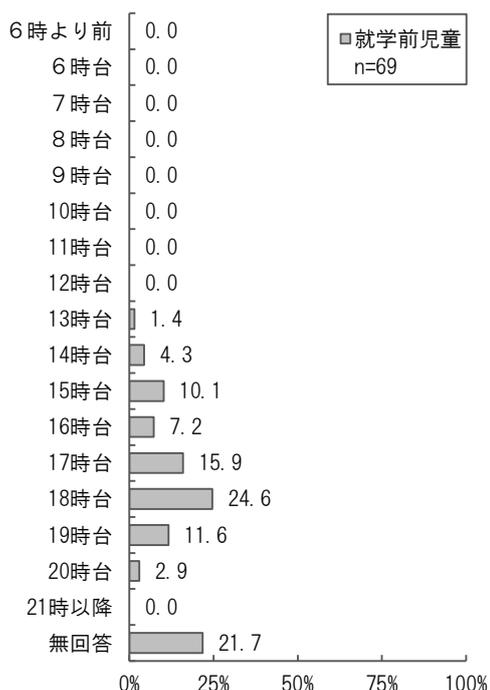
問15-2(2) 希望開始時間



問15-2(1) 利用終了時間



問15-2(2) 希望終了時間



③ 認可保育所利用者の状況

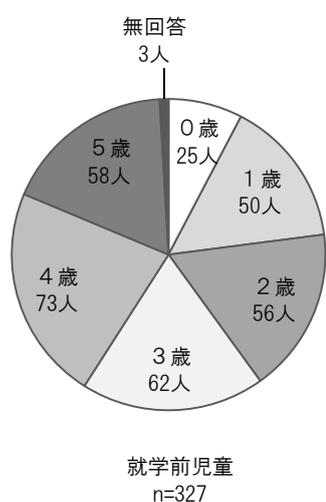
○認可保育所利用者327人の年齢の内訳は、以下のとおりです。

○認可保育所を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」(96.9%)が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(45.6%)となっています。

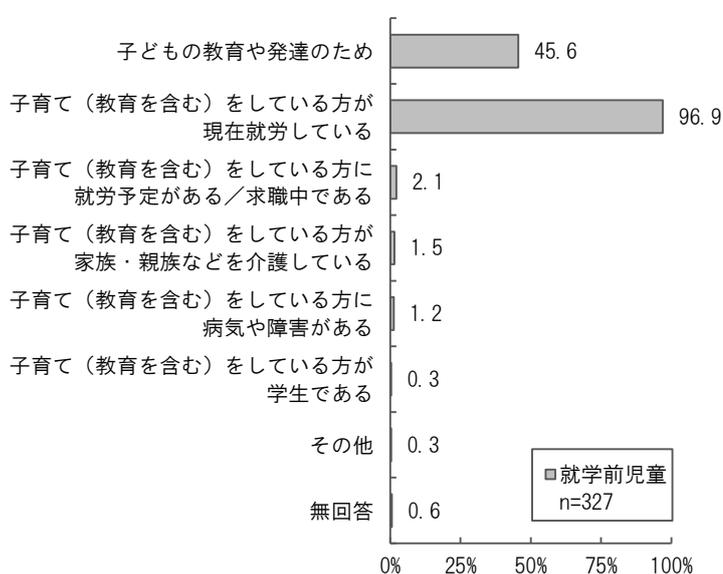
○1週当たりの利用日数・希望日数ともに、「5日」(84.1%・61.5%)が最も高くなっています。

○1日当たりの利用時間・希望時間ともに、「10時間」(29.1%・26.3%)が最も高くなっています。

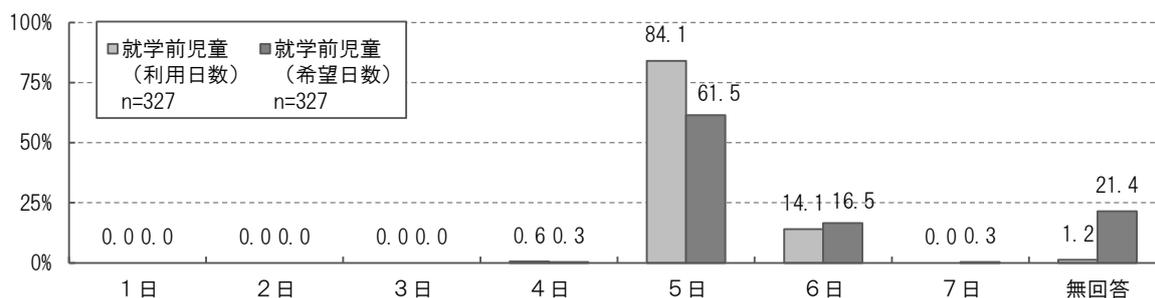
問15-1.3 年齢別利用者数



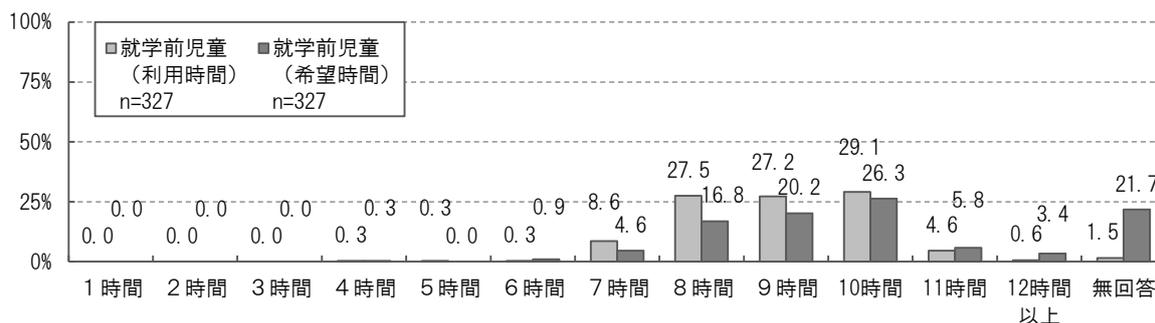
問15-4 利用している理由《複数回答》



問15-2(1)(2) 利用日数と希望日数(1週当たり)



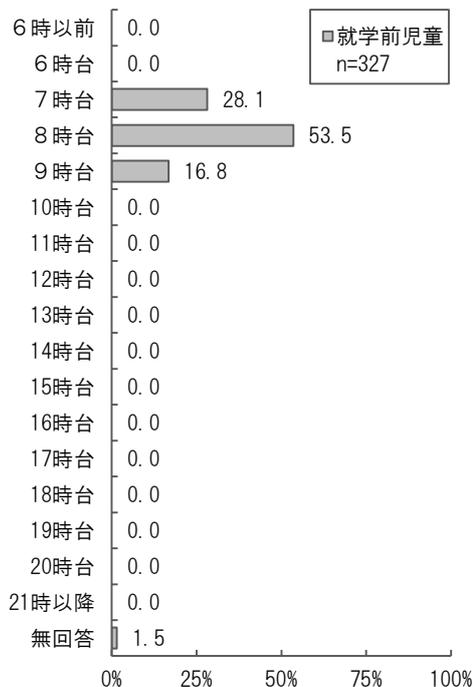
問15-2(1)(2) 利用時間と希望時間(1日当たり)



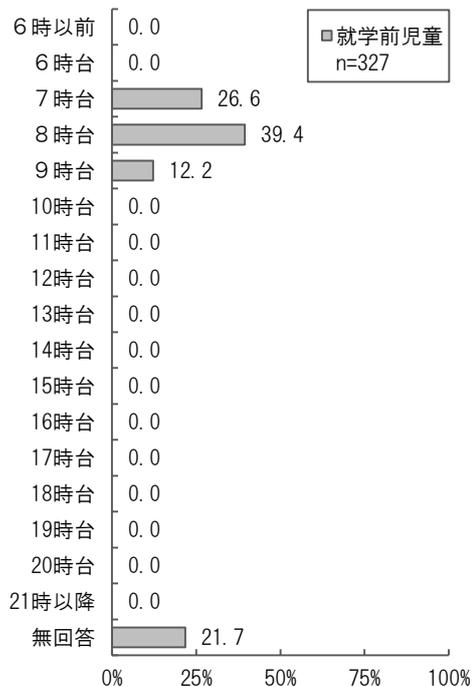
○利用開始時間・希望開始時間ともに、「8時台」(53.5%・39.4%) が最も高くなっています。

○利用終了時間・希望終了時間ともに、「17時台」(47.4%・34.6%) が最も高くなっています。

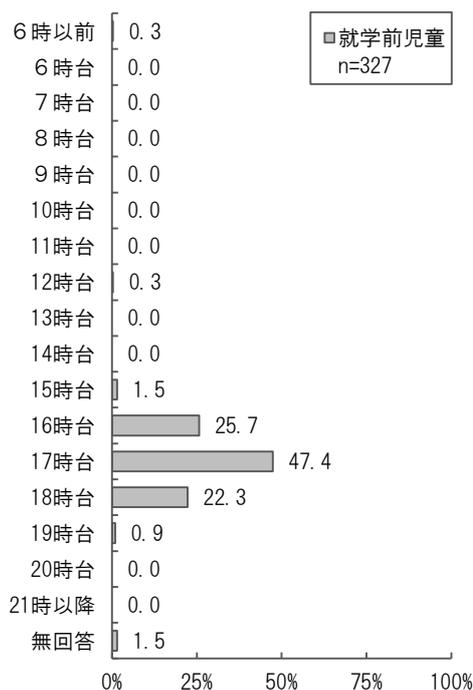
問15-2(1) 利用開始時間



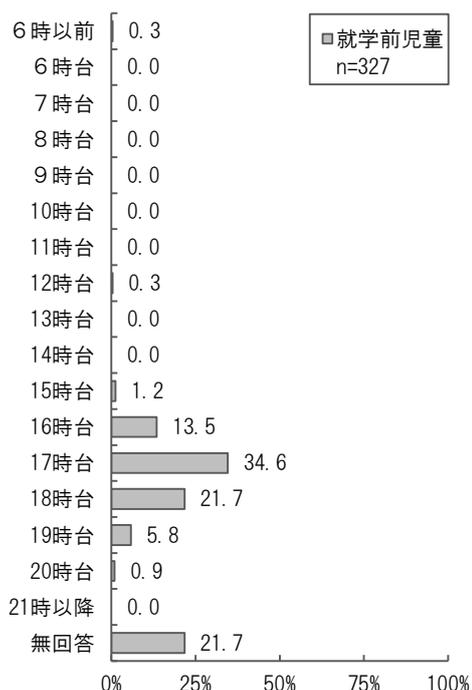
問15-2(2) 希望開始時間



問15-2(1) 利用終了時間



問15-2(2) 希望終了時間



④ 認定こども園利用者の状況

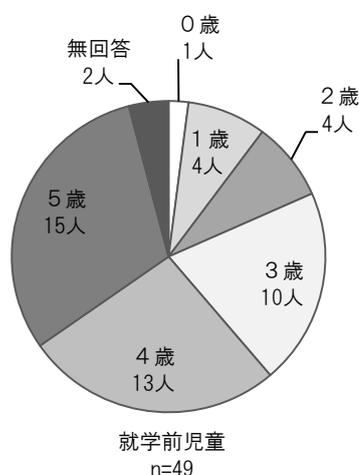
○認定こども園利用者49人の年齢の内訳は、以下のとおりです。

○認定こども園を利用している理由は、「子育てをしている方が現在就労している」(83.7%)が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」(73.5%)となっています。

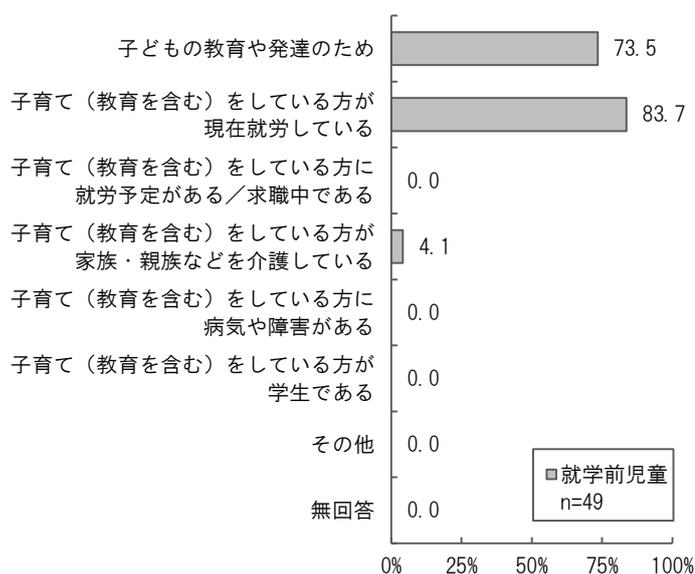
○1週当たりの利用日数・希望日数ともに、「5日」(79.6%・51.0%)が最も高くなっています。

○1日当たりの利用時間・希望時間ともに、「10時間」(30.6%・24.5%)が最も高くなっています。

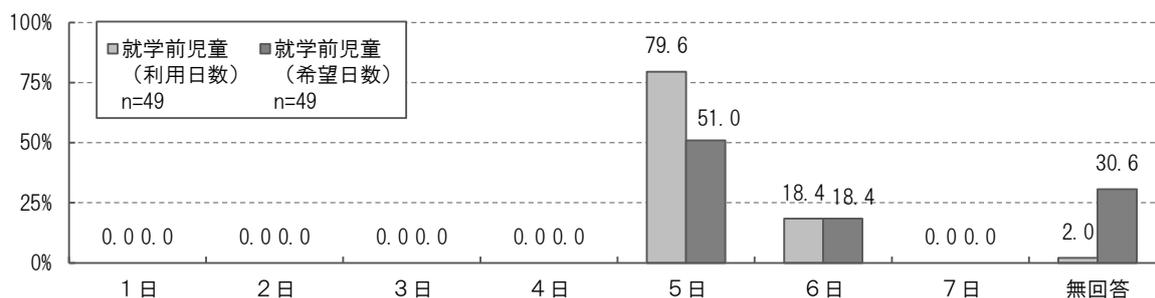
問15-1.4 年齢別利用者数



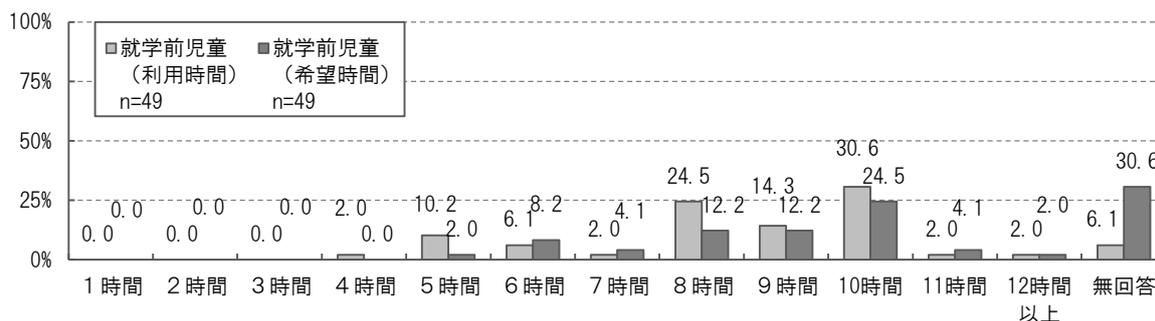
問15-4 利用している理由《複数回答》



問15-2(1)(2) 利用日数と希望日数 (1週当たり)



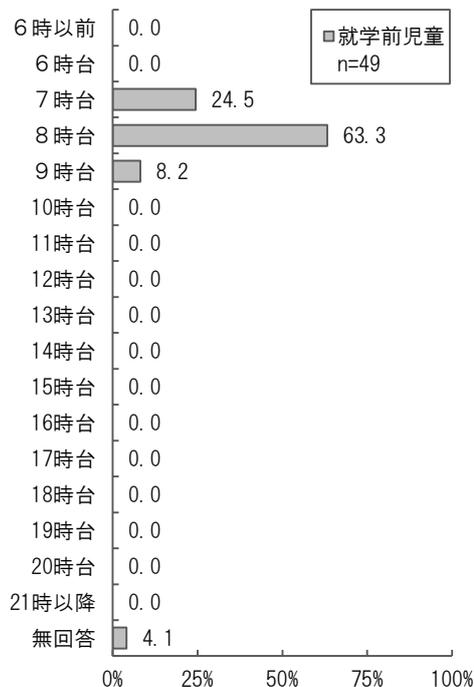
問15-2(1)(2) 利用時間と希望時間 (1日当たり)



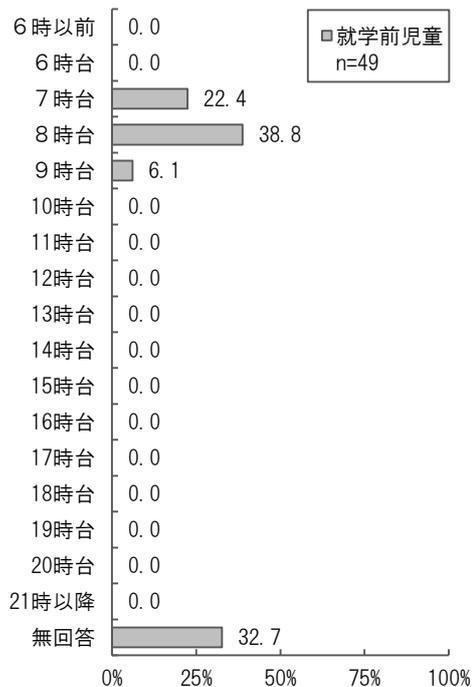
○利用開始時間・希望開始時間ともに、「8時台」(63.3%・38.8%)が最も高くなっています。

○利用終了時間は「17時台」(28.6%)、希望終了時間は「18時台」(26.5%)が最も高くなっています。

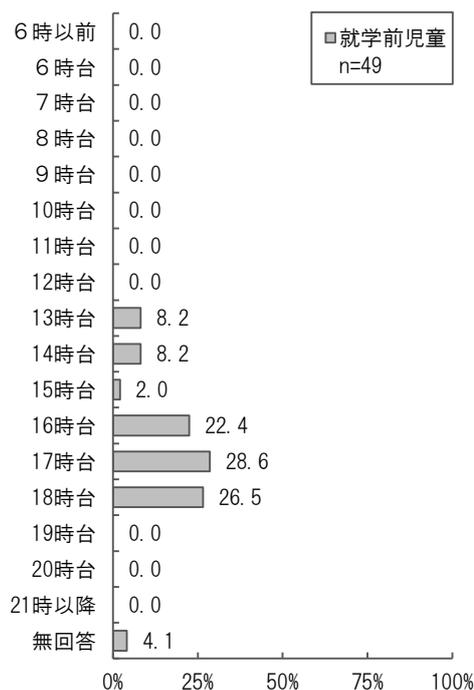
問15-2(1) 利用開始時間



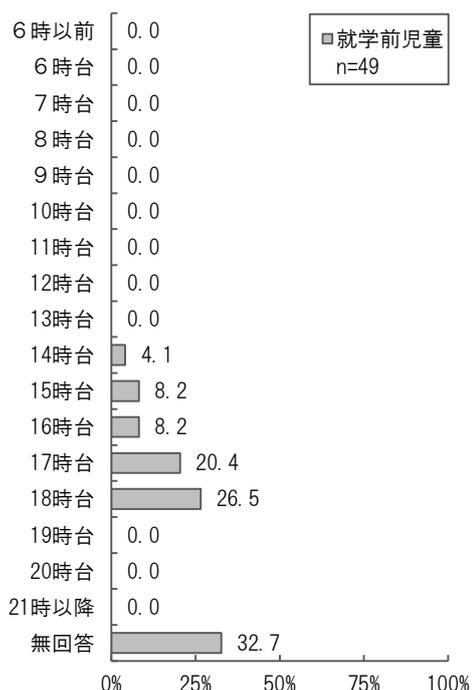
問15-2(2) 希望開始時間



問15-2(1) 利用終了時間



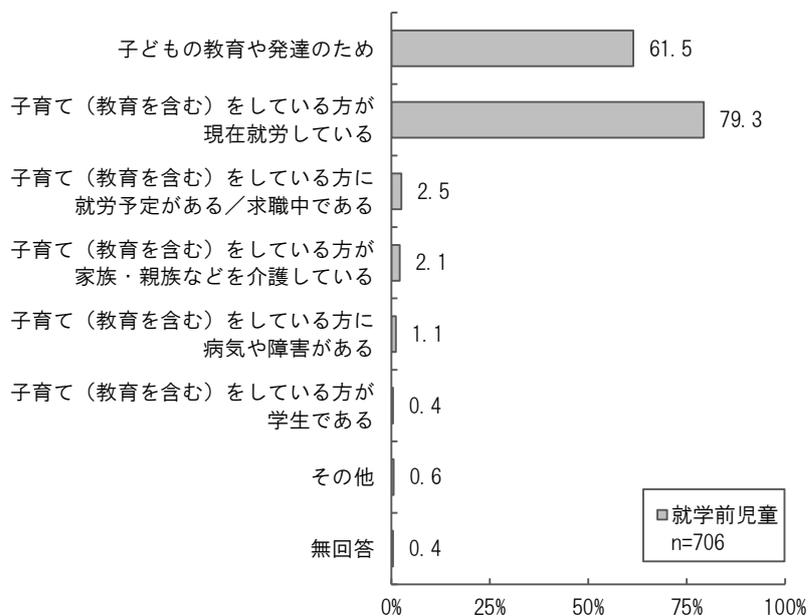
問15-2(2) 希望終了時間



(2) 定期的な教育・保育事業の利用理由と未利用の理由

○平日に教育・保育事業を利用している理由は、「子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している」（79.3%）が最も高く、次いで「子どもの教育や発達のため」（61.5%）となっています。

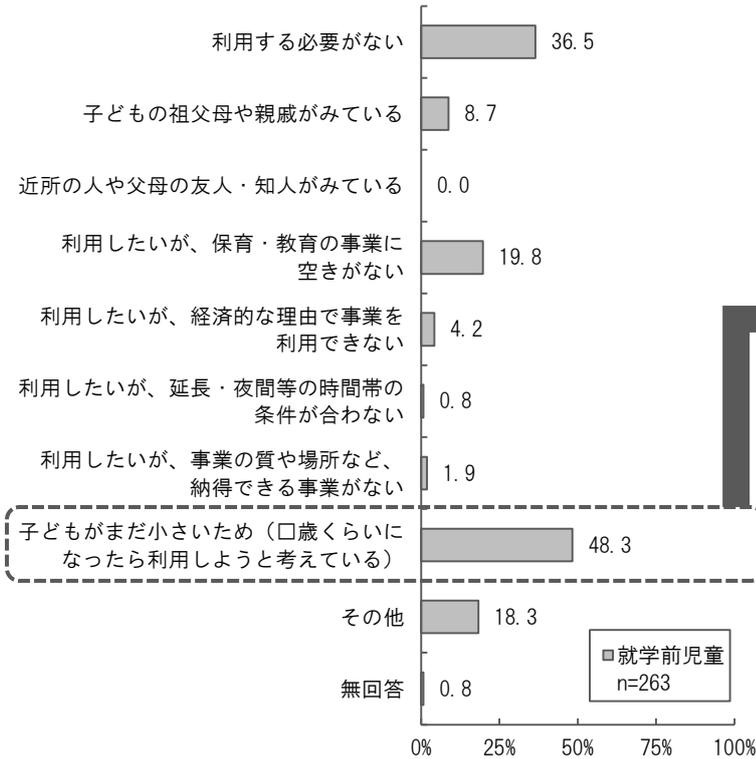
問15-4 平日に教育・保育事業を利用している理由《複数回答》



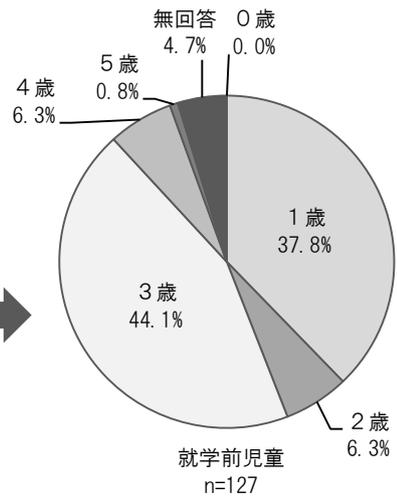
○利用していない理由は、「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」（48.3%）と回答した方の割合が最も高くなっています。

○「子どもがまだ小さいため（□歳くらいになったら利用しようと考えている）」と回答した方が、教育・保育事業の利用を希望する子どもの年齢は、「3歳」（44.1%）が最も高く、次いで「1歳」（37.8%）となっています。

問15-5 教育・保育事業を利用していない理由
《複数回答》



問15-5.8 利用を希望する子どもの年齢



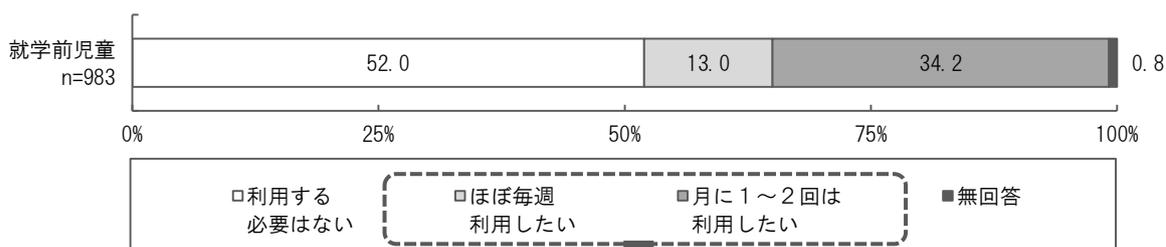
2 休日の定期的な教育・保育事業の利用希望

(1) 土曜日と日曜・祝日の定期的な教育・保育事業の利用希望

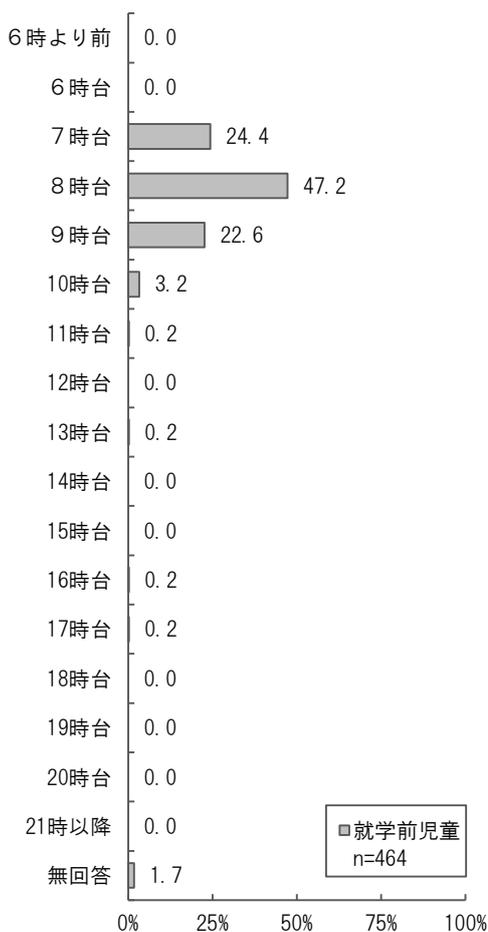
○土曜日の教育・保育事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」(13.0%)と「月に1～2回は利用したい」(34.2%)を合わせた47.2%となっています。

○希望開始時間は「8時台」(47.2%)、希望終了時間は「17時台」(28.7%)が最も高くなっています。

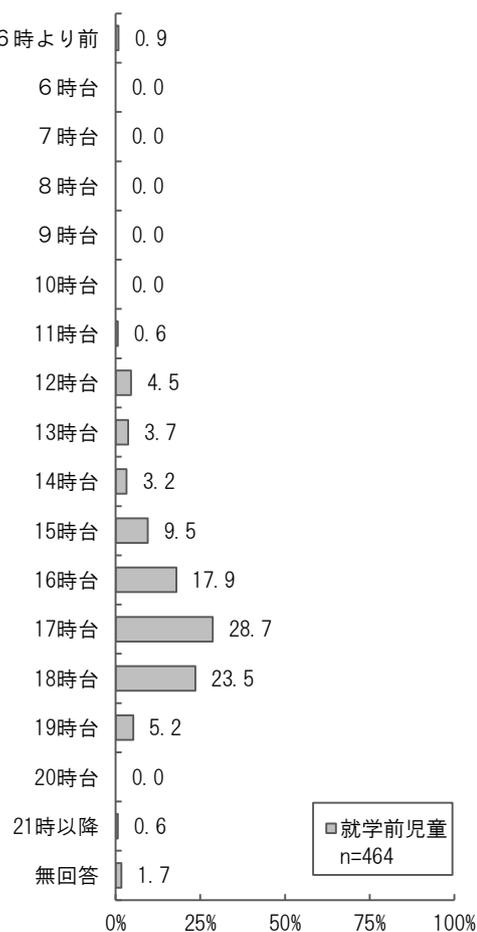
問20(1) 土曜日の利用希望



問20(1) 希望開始時間

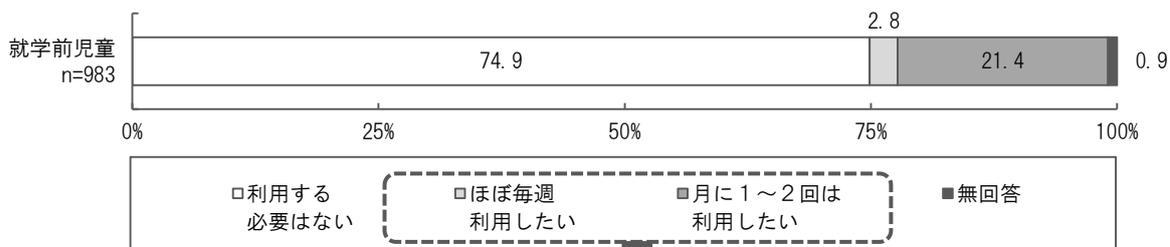


問20(1) 希望終了時間

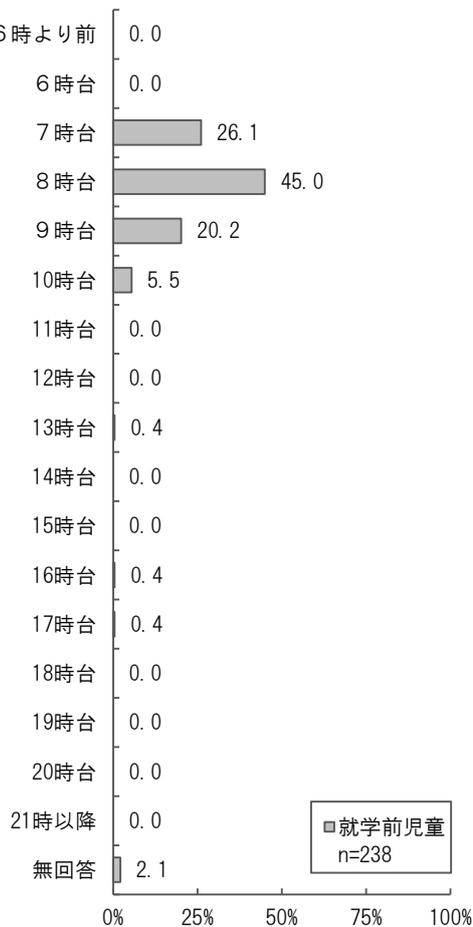


- 日曜・祝日の教育・保育事業の利用希望は、「ほぼ毎週利用したい」(2.8%)と「月に1~2回は利用したい」(21.4%)を合わせた24.2%となっています。
- 希望開始時間は「8時台」(45.0%)、希望終了時間は「18時台」(30.7%)が最も高くなっています。

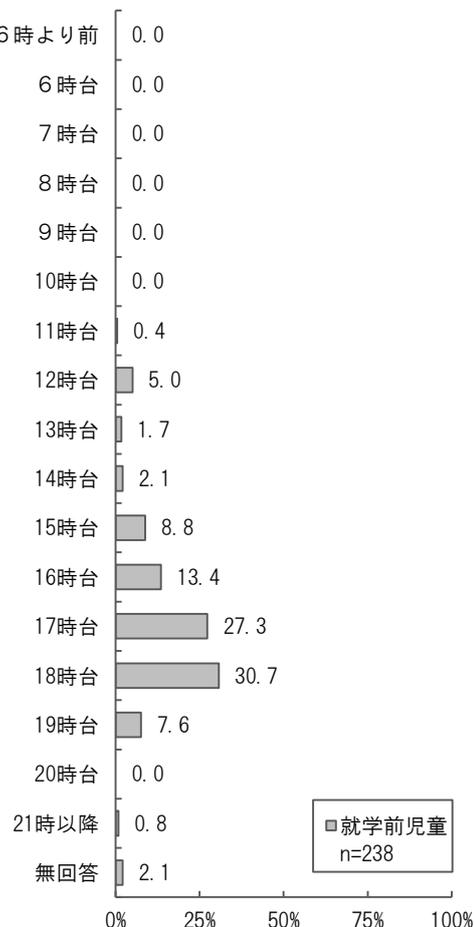
問20(2) 日曜・祝日の利用希望



問20(2) 希望開始時間

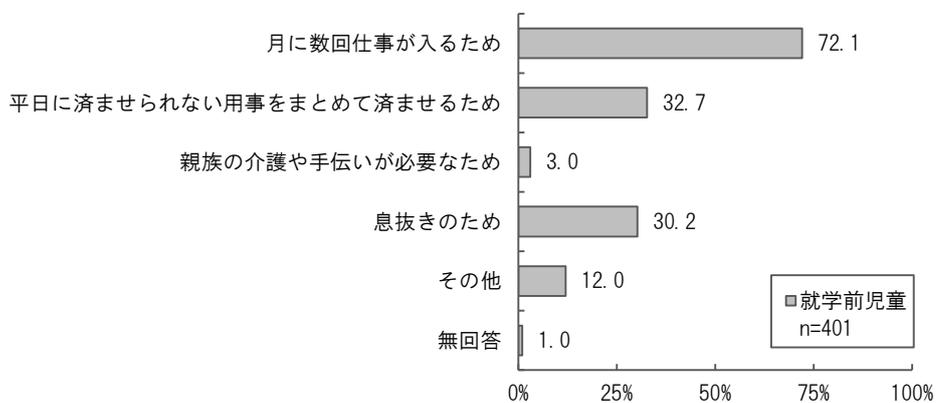


問20(2) 希望終了時間



○毎週ではなく「月に1～2回は利用したい」理由をみると、「月に数回仕事が入るため」(72.1%)が最も高く、次いで「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」(32.7%)、「息抜きのため」(30.2%)となっています。

問20-1 毎週ではなく、「月に1～2回は利用したい」理由《複数回答》

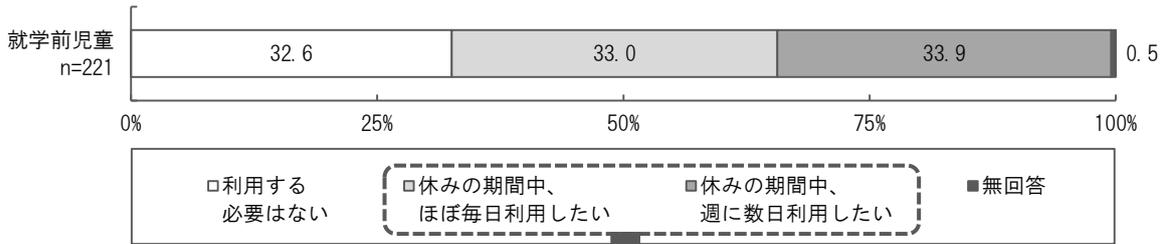


(2) 長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望（幼稚園利用者）

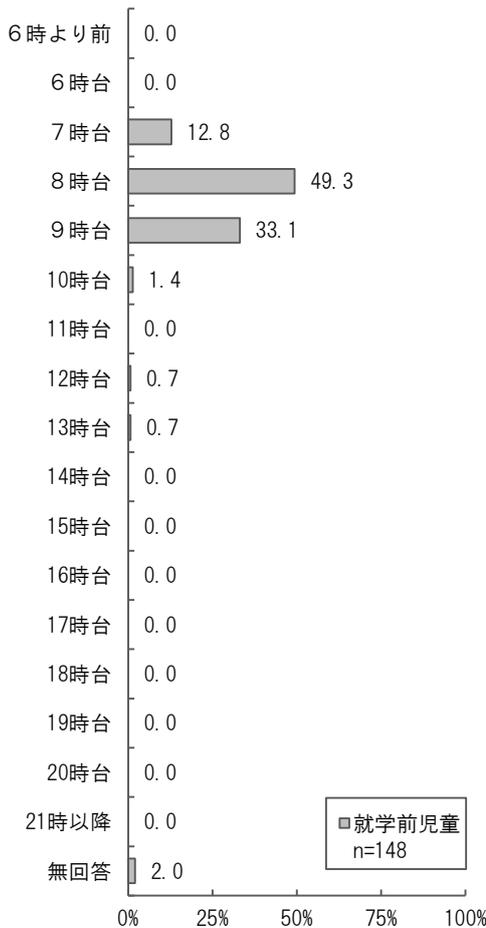
○幼稚園利用者の長期休業期間中の教育・保育事業の利用希望は、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」（33.0%）と「休みの期間中、週に数日利用したい」（33.9%）を合わせた66.9%となっています。

○希望開始時間は「8時台」（49.3%）、希望終了時間は「18時台」（20.3%）が最も高くなっています。

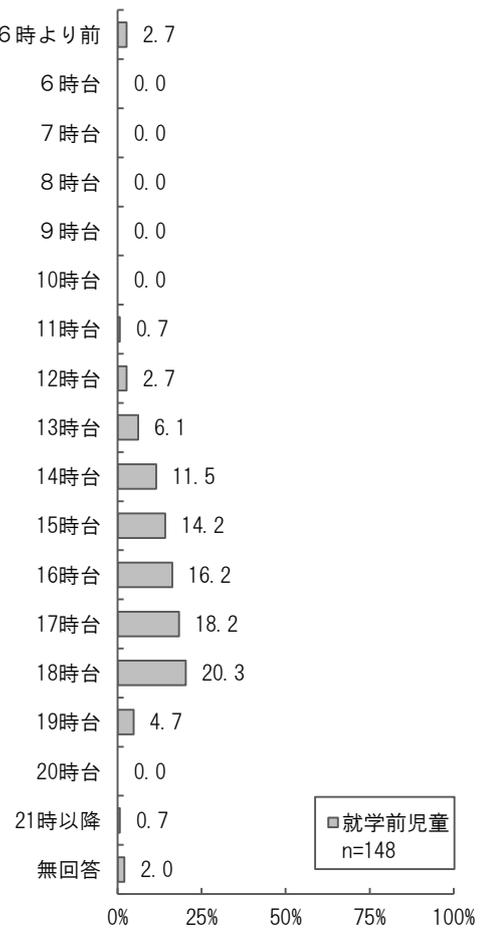
問21 長期休業期間中の利用希望（幼稚園利用者）



問21 希望開始時間

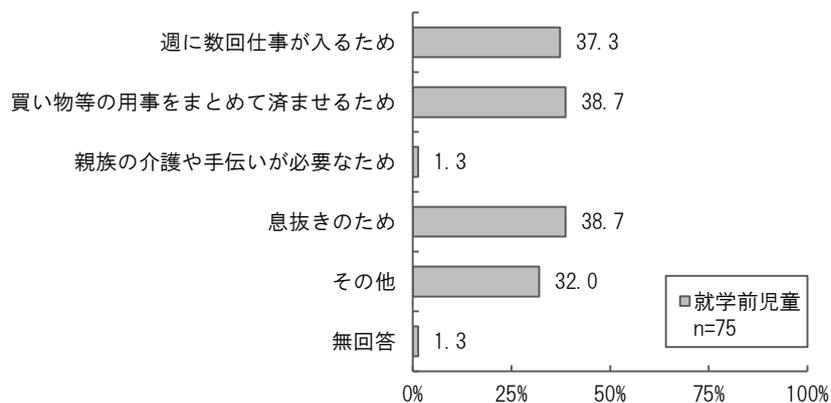


問21 希望終了時間



○「休みの期間中、週に数日利用したい」理由をみると、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」「息抜きのため」(各38.7%)が最も高く、次いで「週に数回仕事が入るため」(37.3%)となっています。

問21-1 毎日ではなく、「休みの期間中、週に数日利用したい」理由《複数回答》

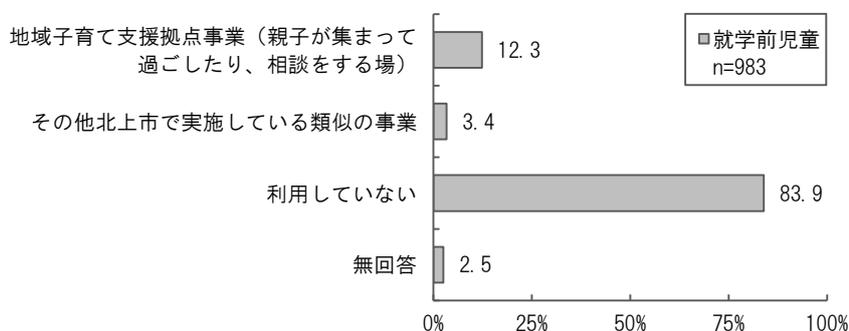


3 地域の子育て支援事業の現状と今後の利用希望

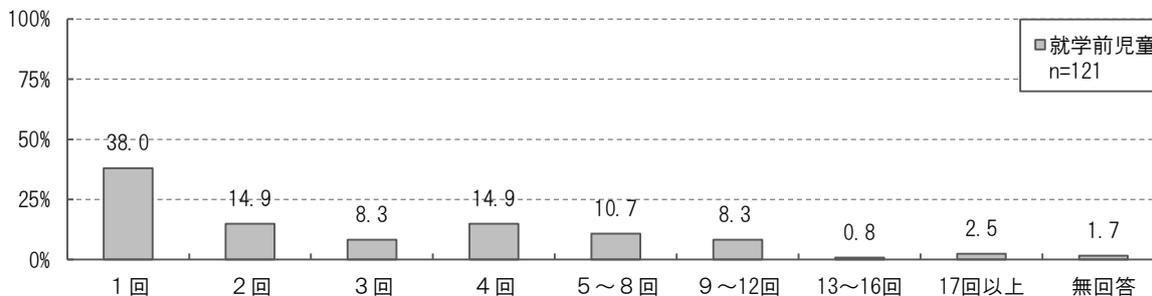
(1) 地域子育て支援拠点事業の利用状況

- 「地域子育て支援拠点事業（親子が集まって過ごしたり、相談をする場）」の利用者は12.3%、一方、「利用していない」は83.9%となっています。
- 「地域子育て支援拠点事業」利用者の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」（38.0%）が最も高く、次いで「2回」「4回」（各14.9%）となっています。
- 「その他北上市で実施している類似の事業」利用者の1ヶ月当たりの利用回数は、「1回」（60.6%）が最も高く、次いで「2回」（21.2%）となっています。

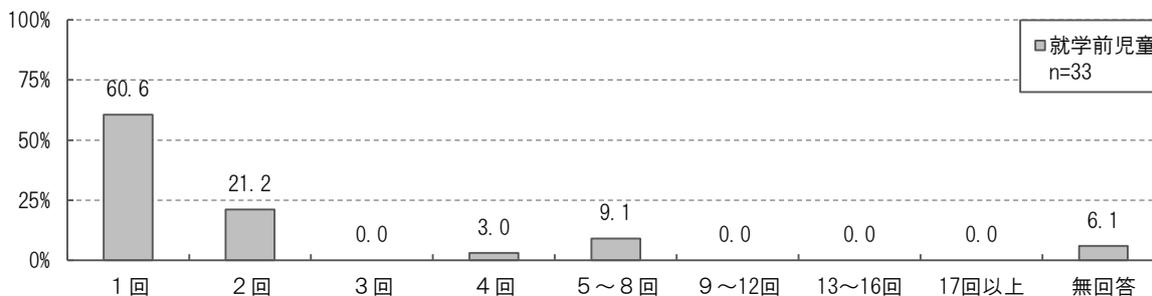
問17 地域子育て支援拠点事業の利用状況《複数回答》



問17.1 地域子育て支援拠点事業の利用回数（1ヶ月当たり）



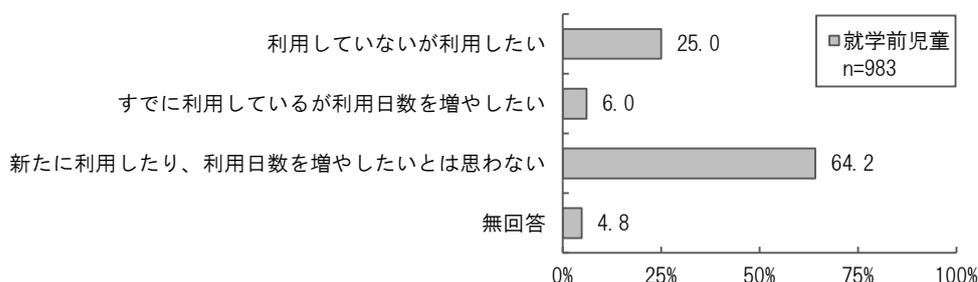
問17.2 その他北上市で実施している類似の事業の利用回数（1ヶ月当たり）



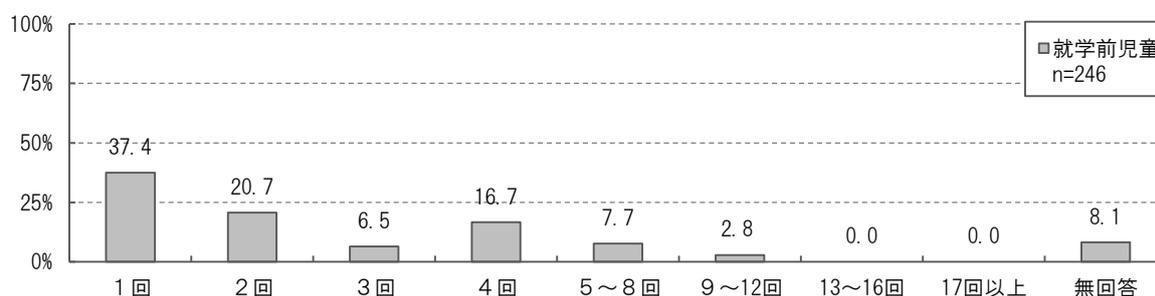
(2) 今後の利用希望

- 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望をみると、「利用していないが利用したい」が25.0%、「すでに利用しているが利用日数を増やしたい」が6.0%となっています。
- 未利用者の今後の利用希望回数は、1ヶ月当たり「1回」(37.4%)が最も高く、次いで「2回」(20.7%)となっています。また、既利用者の今後増やしたい利用回数は、1ヶ月当たり「2回」「4回」(各22.0%)、次いで「1回」(20.3%)となっています。

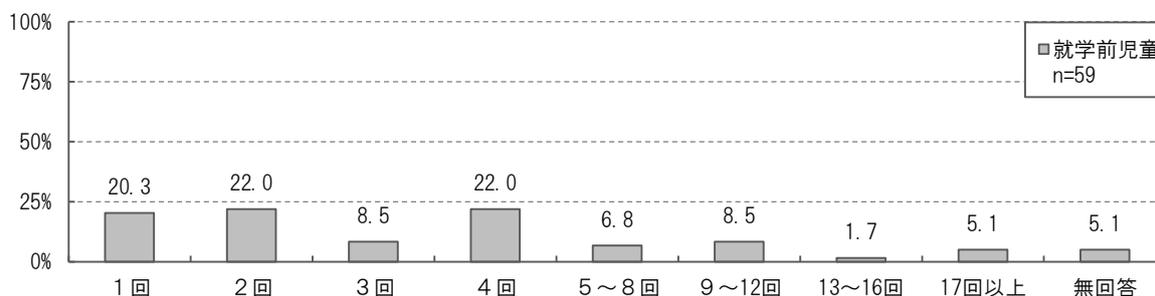
問18 地域子育て支援拠点事業の今後の利用希望



問18.1 未利用者の今後の利用希望回数（1ヶ月当たり）



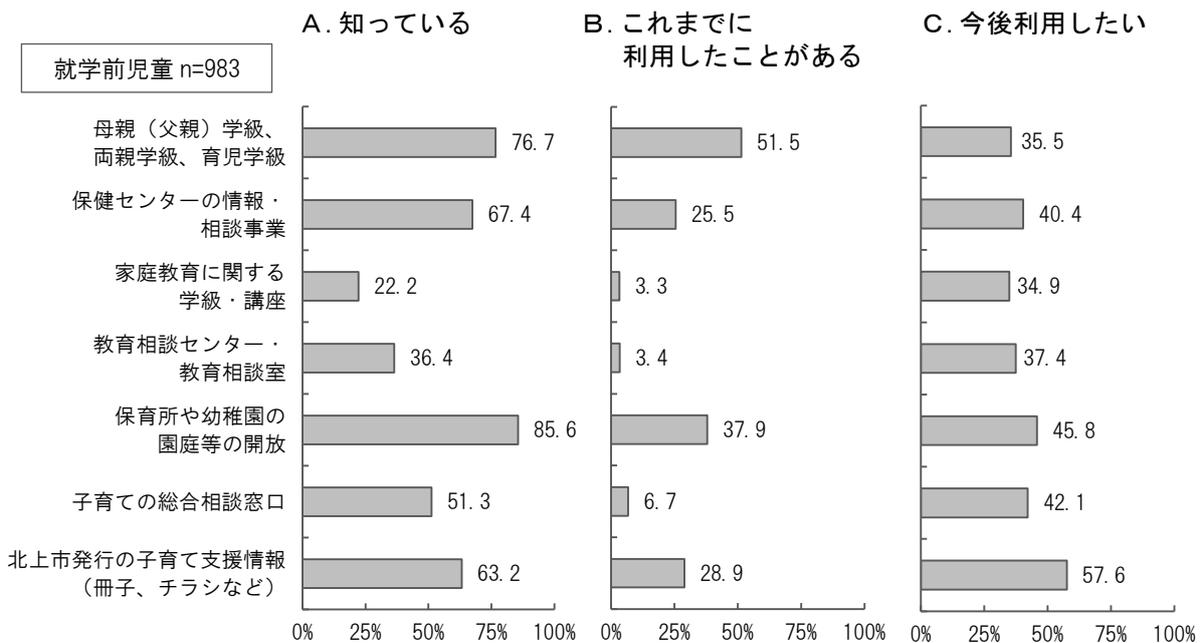
問18.2 既利用者の今後増やしたい利用回数（1ヶ月当たり）



(3) 子育て支援事業の周知度・利用状況と今後の利用希望について

- 子育て支援事業の周知度をみると、「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(85.6%)、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(76.7%)が8割前後で高くなっています。一方、「家庭教育に関する学級・講座」(22.2%)は約2割で最も低くなっています。
- これまでに利用したことがある事業は、「母親(父親)学級、両親学級、育児学級」(51.5%)が最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(37.9%)、「北上市発行の子育て支援情報(冊子、チラシなど)」(28.9%)となっています。一方、「家庭教育に関する学級・講座」(3.3%)、「教育相談センター・教育相談室」(3.4%)、「子育ての総合相談窓口」(6.7%)は1割に満たない状況です。
- 今後の利用希望は、「北上市発行の子育て支援情報(冊子、チラシなど)」(57.6%)が最も高く、次いで「保育所や幼稚園の園庭等の開放」(45.8%)、「子育ての総合相談窓口」(42.1%)、「保健センターの情報・相談事業」(40.4%)となっています。

問19 子育て支援事業の周知度、利用状況、今後の利用希望

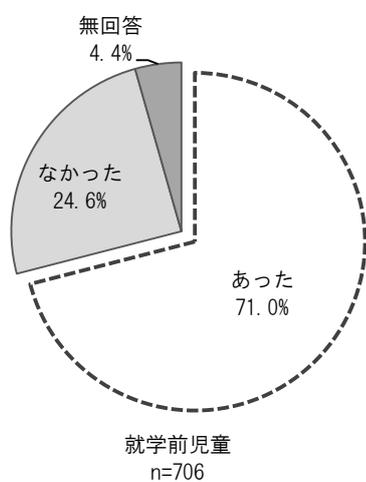


4 病児・病後児保育事業の潜在ニーズ

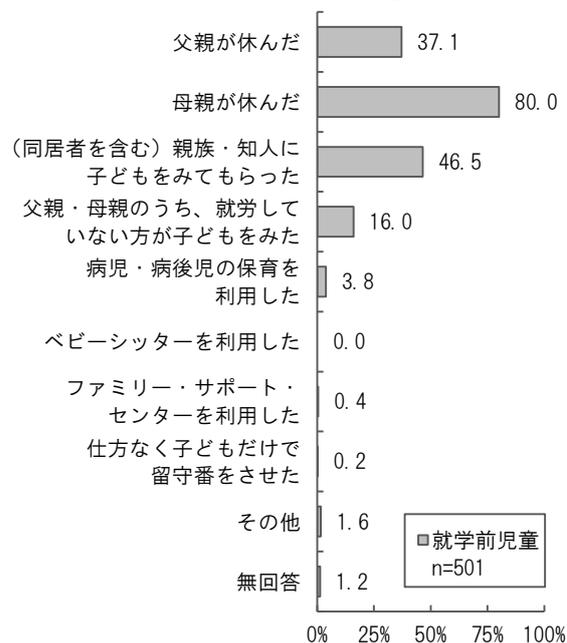
(1) 病気やケガで教育・保育事業を利用できない時の対処について

- 病気やケガで普段利用している教育・保育事業を利用できなかったことが「あった」方は71.0%となっています。
- この1年間の対処方法をみると、「母親が休んだ」(80.0%)が最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」(46.5%)、「父親が休んだ」(37.1%)となっています。

問22 病気やケガで普段利用している教育・保育事業を利用できなかったこと



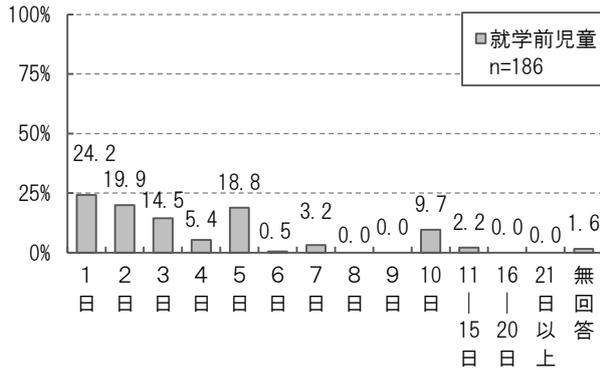
問22-1 この1年間の対処方法
《複数回答》



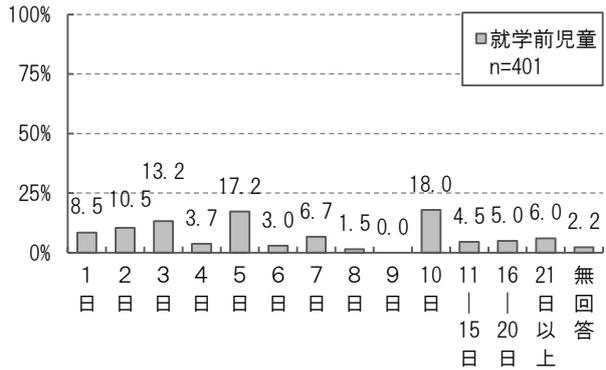
○この1年間の対処方法別の日数をみると、『父親が休んだ』は「1日」(24.2%)、『母親が休んだ』は「10日」(18.0%)、『(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった』『父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた』は「5日」(19.7%・16.3%)が最も高くなっています。

他の事業については、以下のとおりです。

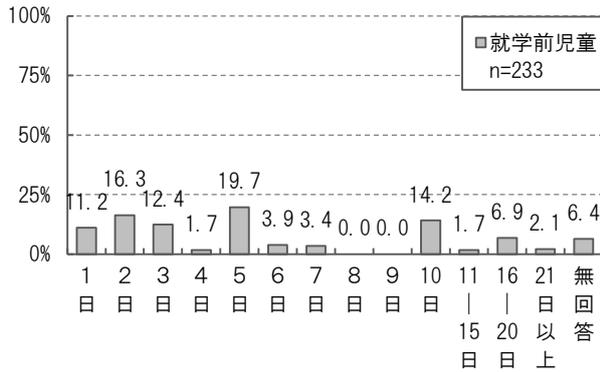
問22-1.1 父親が休んだ



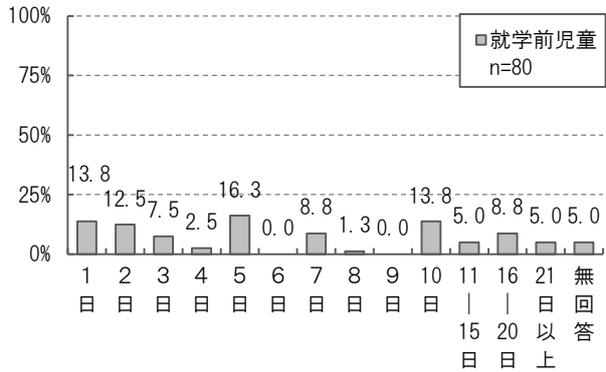
問22-1.2 母親が休んだ



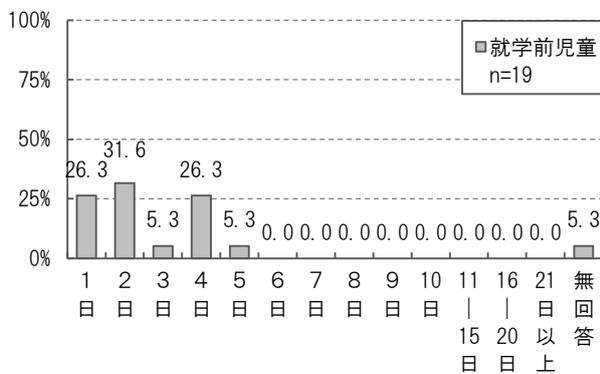
問22-1.3 (同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった



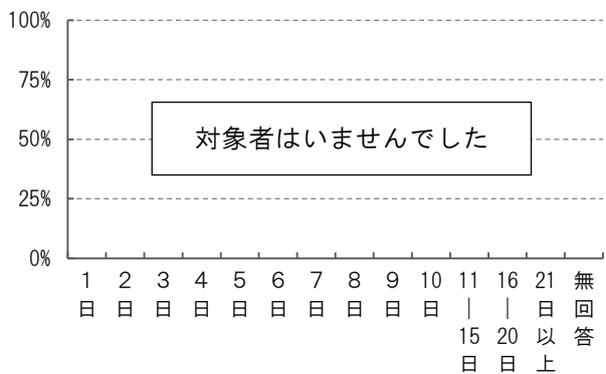
問22-1.4 父親・母親のうち、就労していない方が子どもをみた



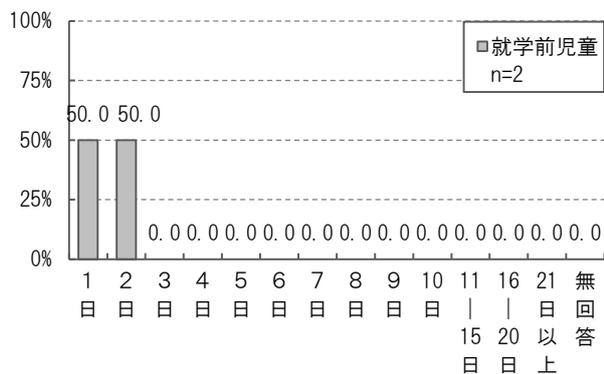
問22-1.5 病児・病後児の保育を利用した



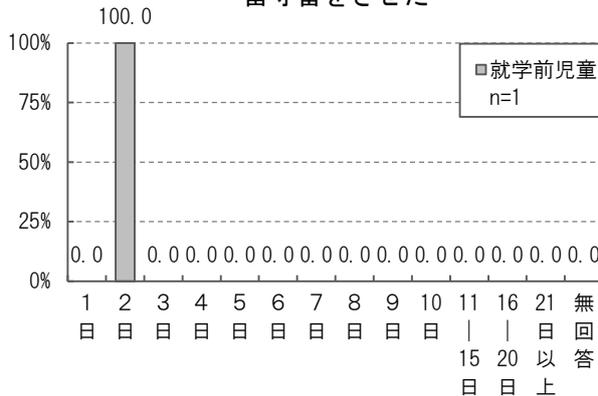
問22-1.6 ベビーシッターを利用した



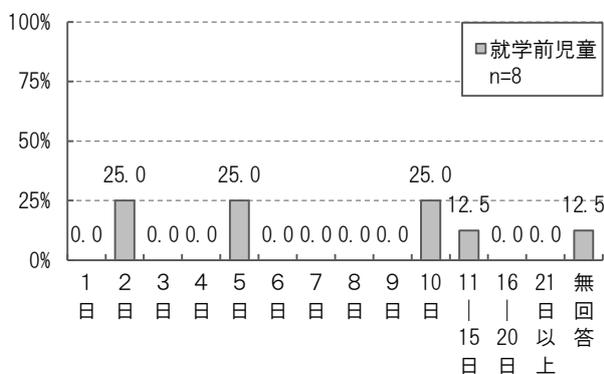
問22-1.7 ファミリー・サポート・センターを利用した



問22-1.8 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



問22-1.9 その他

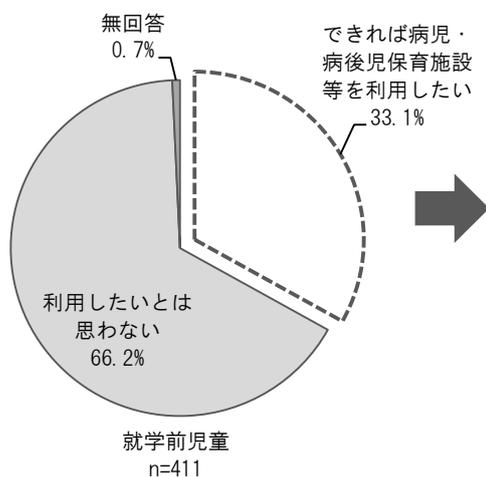


(2) 病児・病後児保育施設の利用意向

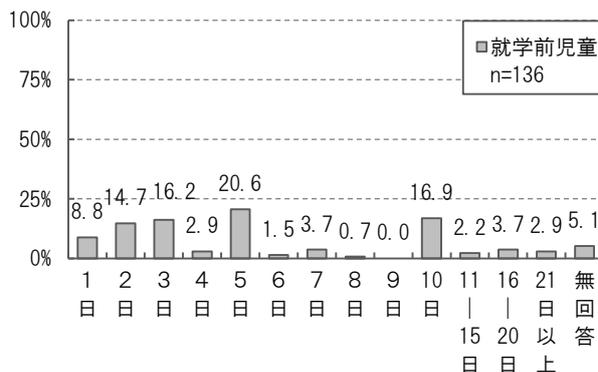
○父親・母親が休んでみた方のうち、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」は33.1%となっています。

○その際の年間利用希望日数は、「5日」(20.6%)が最も高く、次いで「10日」(16.9%)、「3日」(16.2%)となっています。

問22-2 父親・母親が休んだ方の病児・病後児保育施設等の利用希望



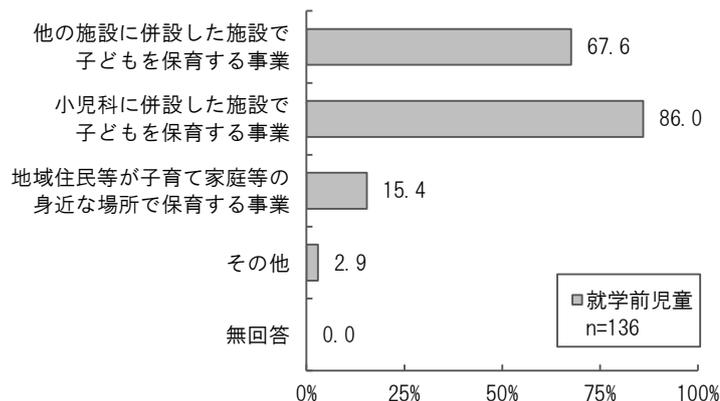
問22-2.1 利用希望日数



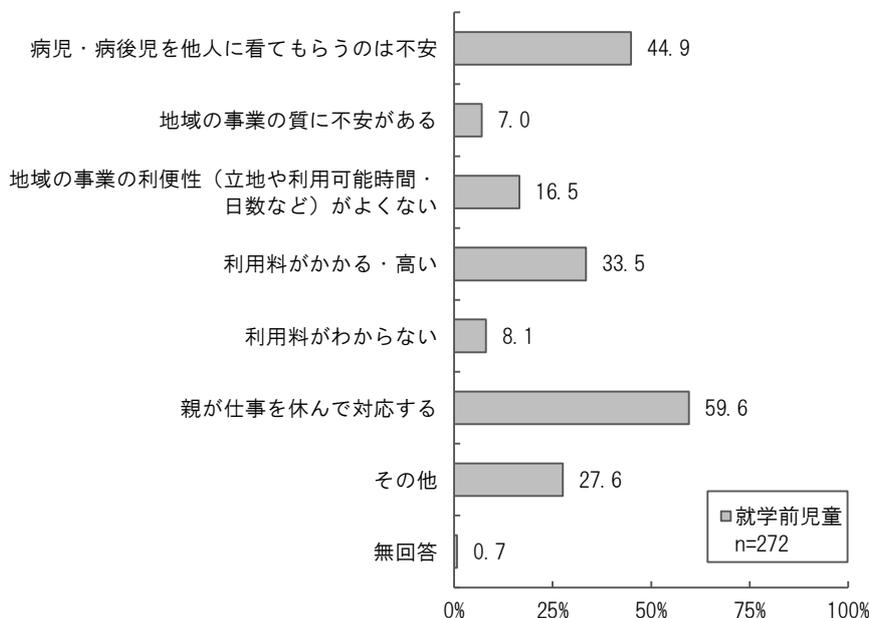
○病児・病後児保育施設の望ましい事業形態をみると、「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」(86.0%)が最も高く、次いで「他の施設に併設した施設で子どもを保育する事業」(67.6%)となっています。

○病児・病後児保育施設の利用を希望しない理由として、「親が仕事を休んで対応する」(59.6%)、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」(44.9%)をあげた割合が高くなっています。

問22-3 病児・病後児保育施設の望ましい事業形態《複数回答》



問22-4 病児・病後児保育施設を利用したいと思わない理由《複数回答》

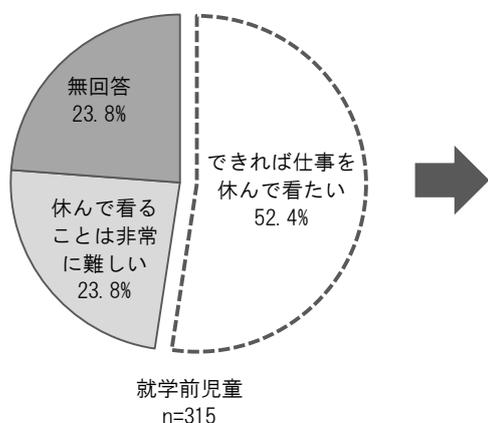


○父母が休んでみた以外の対処方法を選んだ方のうち、「できれば仕事を休んで看たい」と回答した方は52.4%となっています。

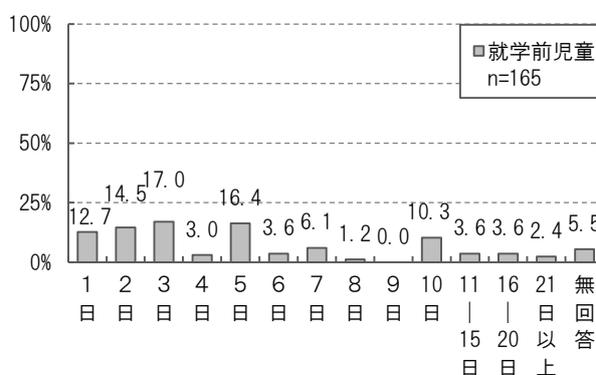
○その際の年間希望日数をみると、就学前児童では「3日」(17.0%)が最も高く、次いで「5日」(16.4%)、「2日」(14.5%)となっています。

○「休んで看することは非常に難しい」理由は、「休暇日数が足りないので休めない」で32.0%、「子どもの看護を理由に休みが取れない」で24.0%となっていますが、一方で「その他」(50.7%)の割合が最も高いことから、様々な理由により休めない状況にあることがうかがえます。

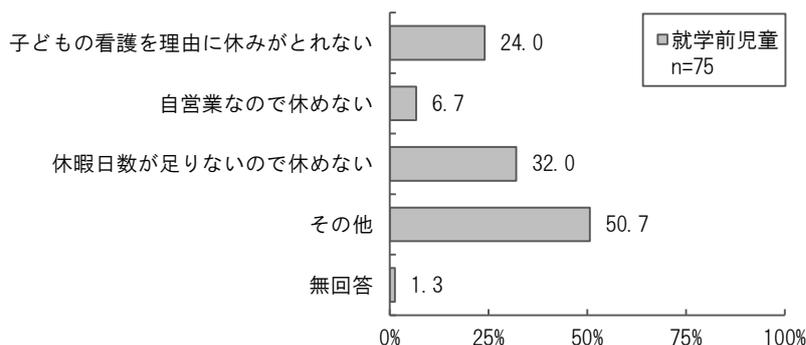
問22-5 できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい



問22-5.1 希望日数



問22-6 「休んで看することは非常に難しい」理由《複数回答》

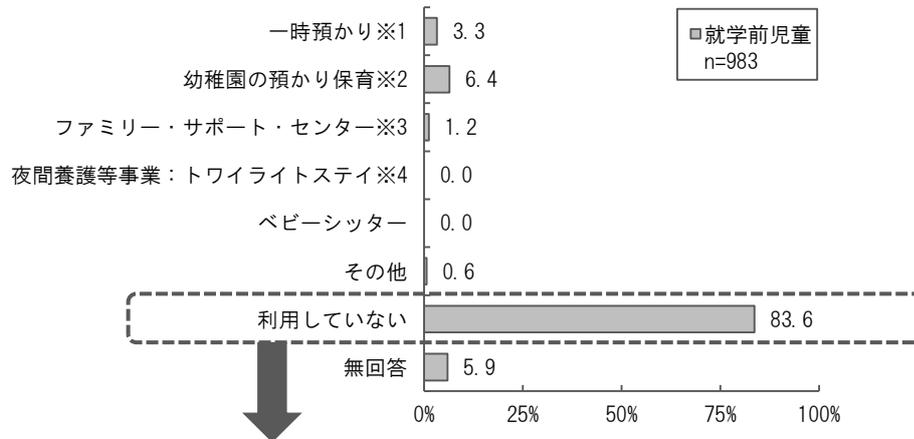


5 不定期の一時保育の利用について

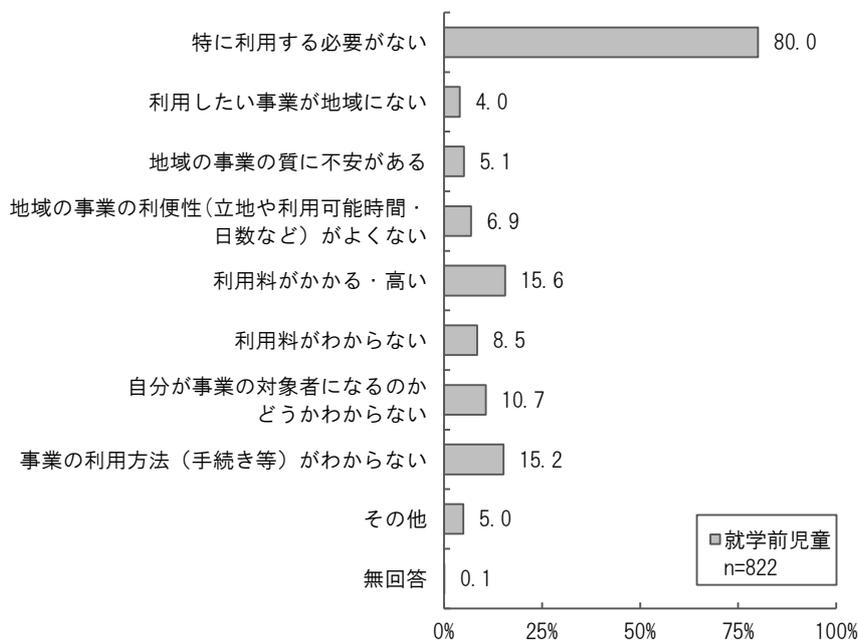
(1) 不定期に利用している教育・保育事業の状況

- 不定期に利用している教育・保育事業をみると、「幼稚園の預かり保育」で6.4%、「一時預かり」で3.3%など、いずれも1割未満でありあまり利用がない状況です。
- 「利用していない」理由としては、「特に利用する必要がない」(80.0%)が8割を占めています。それ以外の理由としては、「利用料がかかる・高い」(15.6%)、「事業の利用方法(手続き等)がわからない」(15.2%)となっています。

問23 不定期に利用している教育・保育事業《複数回答》



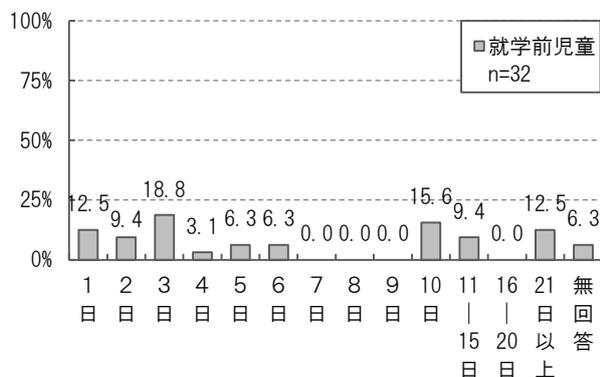
問23-1 現在利用していない理由《複数回答》



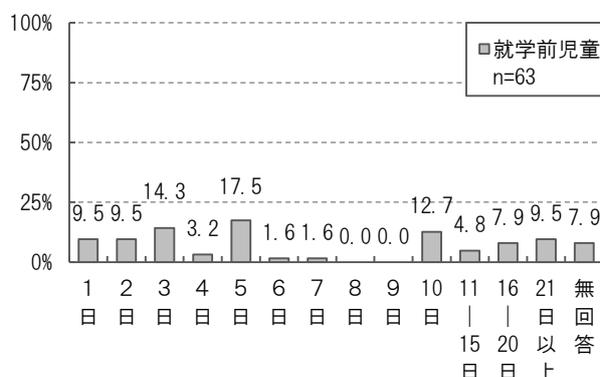
- ※1 一時預かり: 私用など理由を問わずに保育所などで一時的に子どもを保育する事業
- ※2 幼稚園の預かり保育: 通常の就園時間を延長して預かる事業のうち不定期に利用する場合のみ
- ※3 ファミリー・サポート・センター: 地域住民が子どもを預かる事業
- ※4 夜間養護等事業(トワイライトステイ): 児童養護施設等で休日・夜間、子どもを保護する事業

○事業別の年間利用日数をみると、『一時預かり』は「3日」(18.8%)、『幼稚園の預かり保育』『ファミリー・サポート・センター』は「5日」(17.5%・25.0%)で最も高くなっています。他の事業については、以下のとおりです。

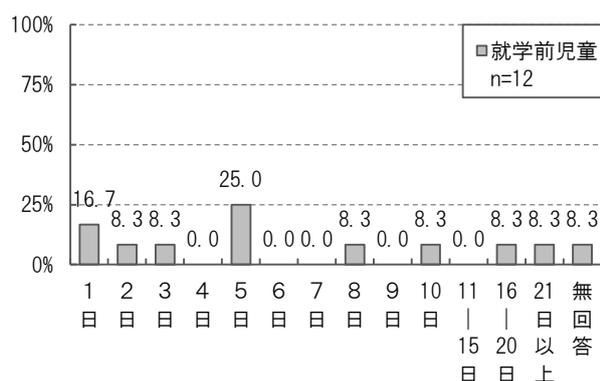
問23.1 一時預かり



問23.2 幼稚園の預かり保育



問23.3 ファミリー・サポート・センター



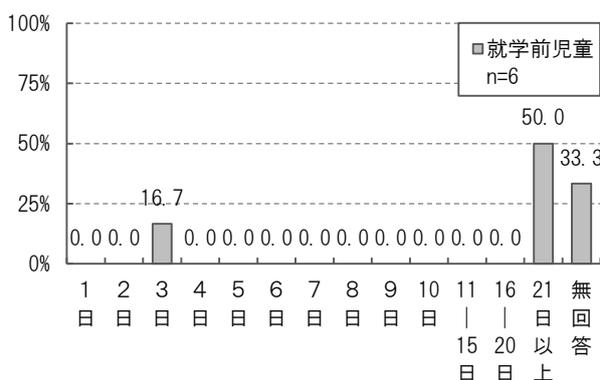
問23.4 夜間養護等事業：トワイライトステイ



問23.5 ベビーシッター



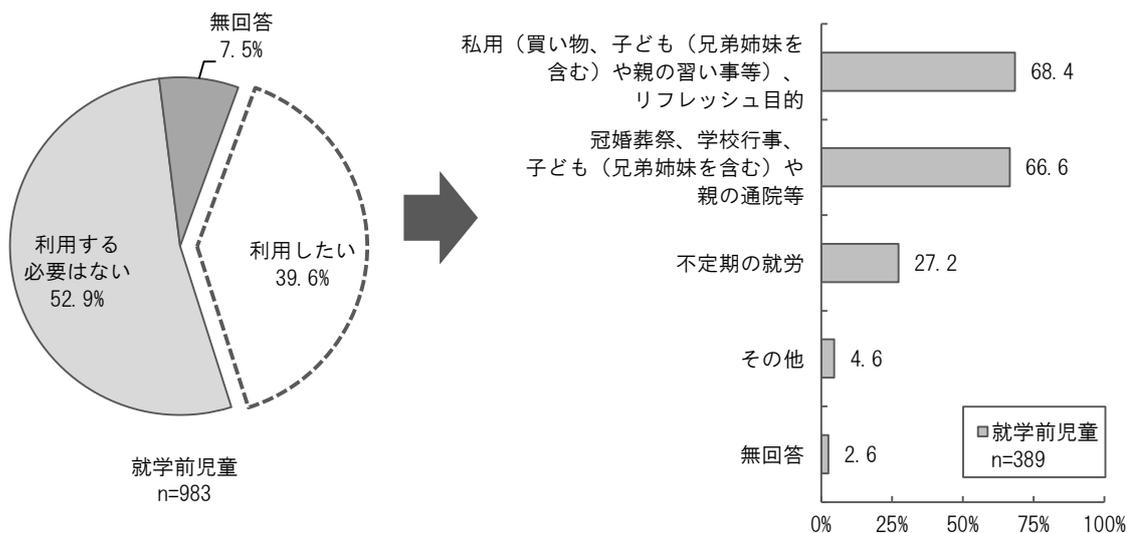
問23.6 その他



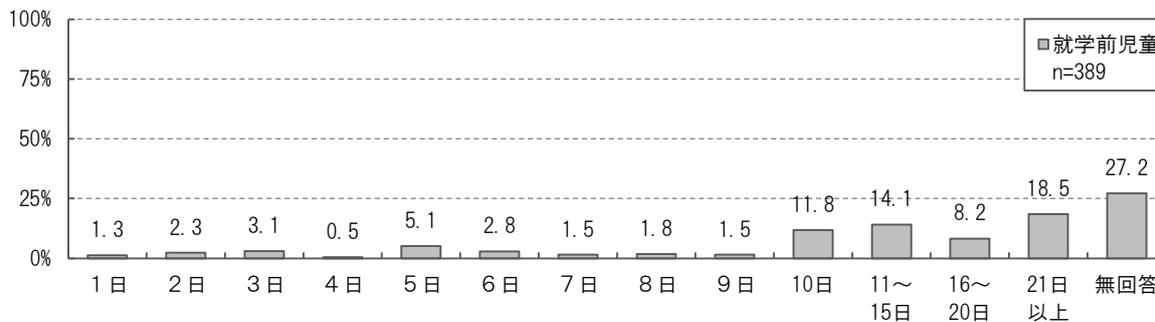
○一時保育事業の利用希望をみると、「利用したい」が39.6%となっています。「利用したい」目的は、「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、リフレッシュ目的」（68.4%）、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」（66.6%）が約7割となっています。

○年間の利用希望日数の合計は、「21日以上」（18.5%）が最も高くなっています。

問24 一時保育事業の利用希望とその目的《複数回答》



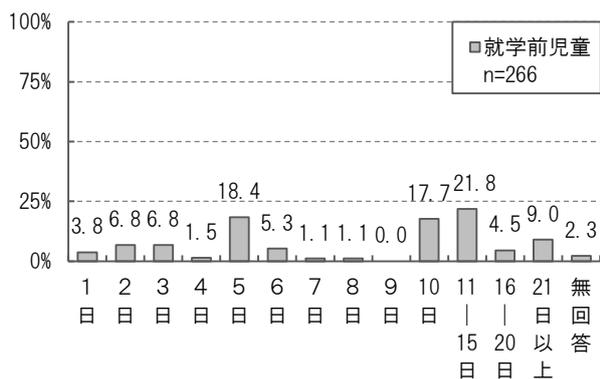
問24.1 一時保育事業の利用希望年間合計日数



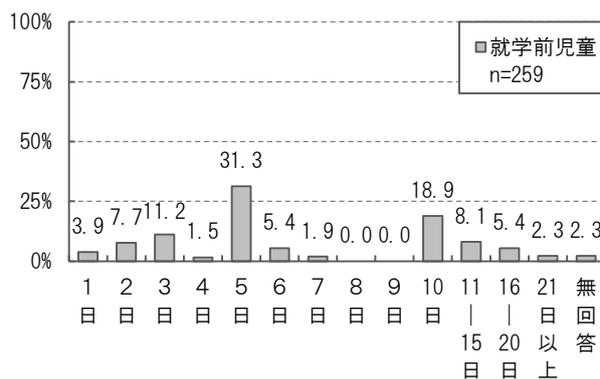
○目的ごとの年間利用希望日数は、『私用、リフレッシュ目的』では「11～15日」(21.8%)、『冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等』では「5日」(31.3%)、『不定期の就労』では「10日」(20.8%)が最も高くなっています。

○一時保育として子どもを預ける場合の望ましい事業形態は、幼稚園・保育所等のような「大規模施設で子どもを預かる事業」(77.1%)が約8割を占めています。

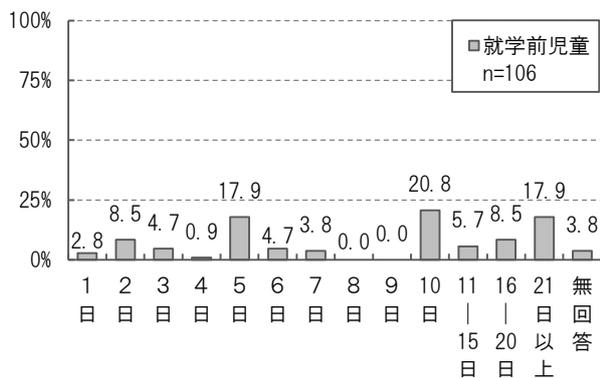
問24.1① 私用、リフレッシュ目的



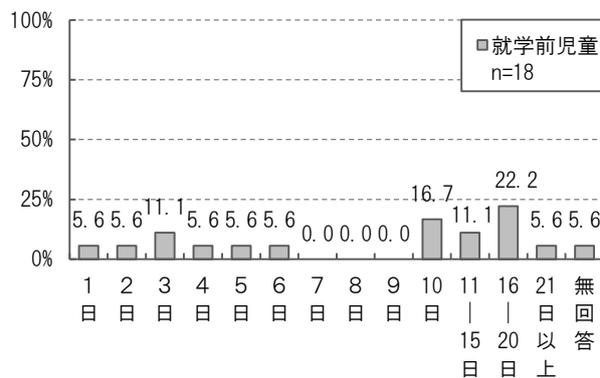
問24.1② 冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等



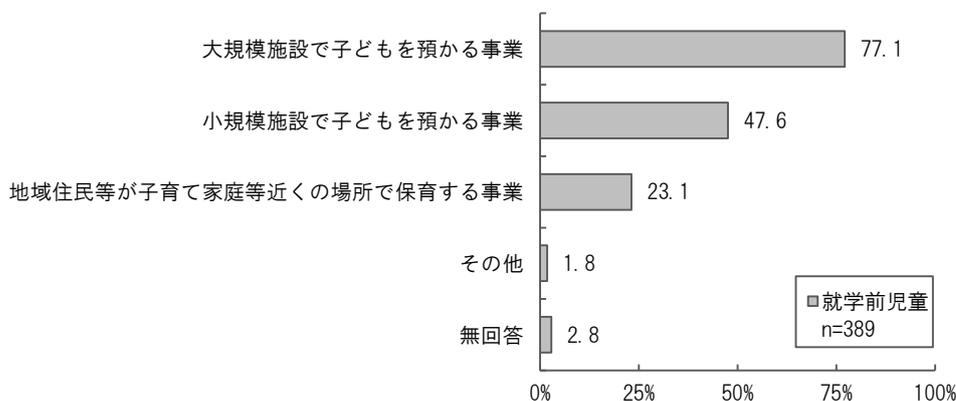
問24.1③ 不定期の就労



問24.1④ その他



問24-1 子どもを預ける場合の望ましい事業形態《複数回答》

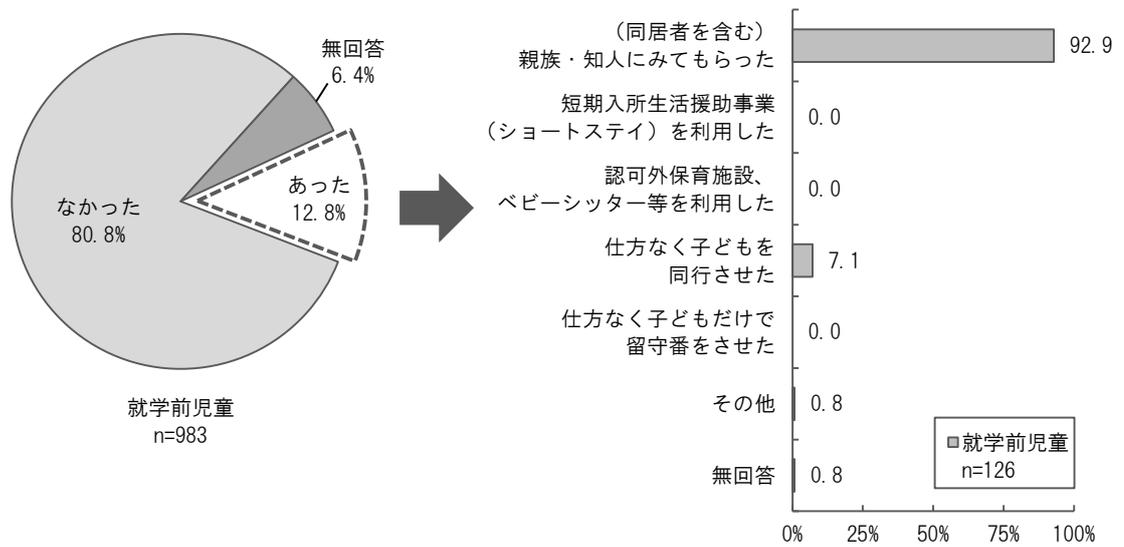


(2) 宿泊を伴う一時保育の利用状況

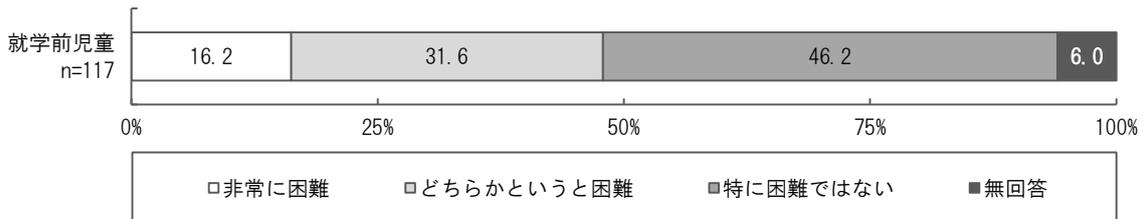
- この1年間に保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらったことが「あった」方は12.8%となっています。そのうち「(同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」が92.9%、「仕方なく子どもを同行させた」が7.1%となっています。
- (同居者を含む) 親族・知人にみてもらう場合、困難であると感じる方（「非常に困難」＋「どちらかというと困難」）は47.8%となっています。

問25 この1年間に保護者の用事等で子どもを泊りがけで家族以外にみてもらった経験

問25.1 1年間の対処方法《複数回答》

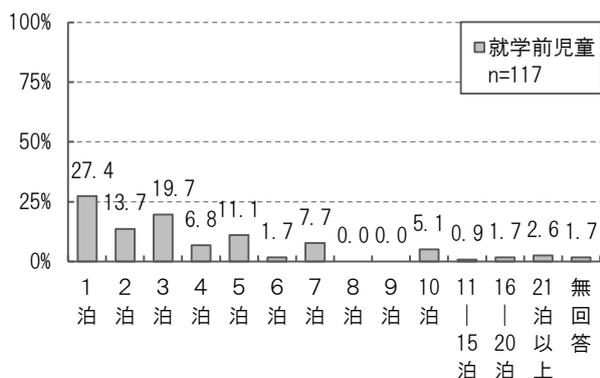


問25-1 親族・知人にみてもらう場合の困難度



○この1年間の対処方法別の年間宿泊数は、『(同居者を含む)親族・知人にみてもらった』『仕方なく子どもを同行させた』では「1泊」(27.4%・44.4%)で最も高くなっています。他の対処方法については、以下のとおりです。

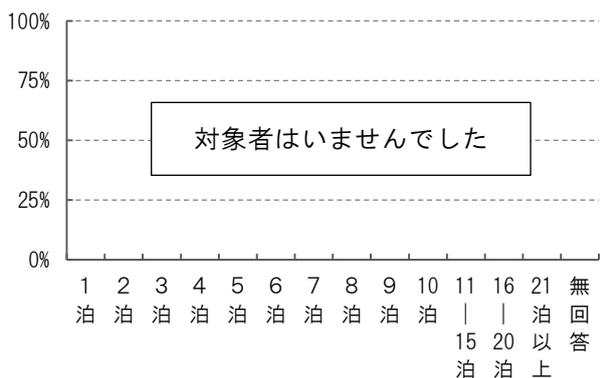
問25.1① 親族・知人にみてもらった



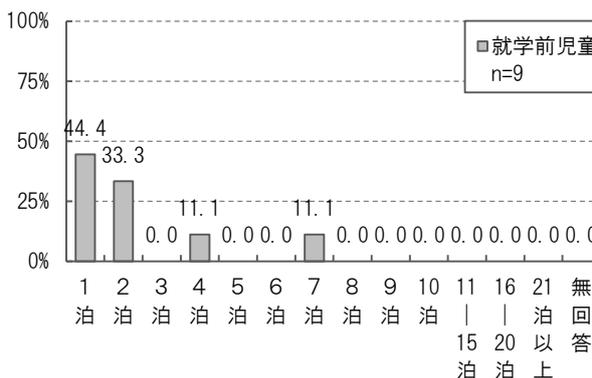
問25.1② 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した



問25.1③ 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した



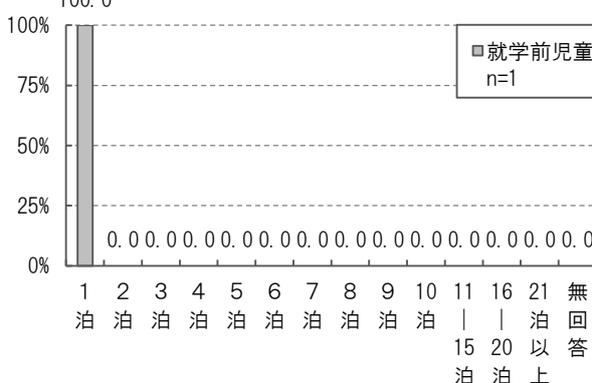
問25.1④ 仕方なく子どもを同行させた



問25.1⑤ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた



問25.1⑥ その他



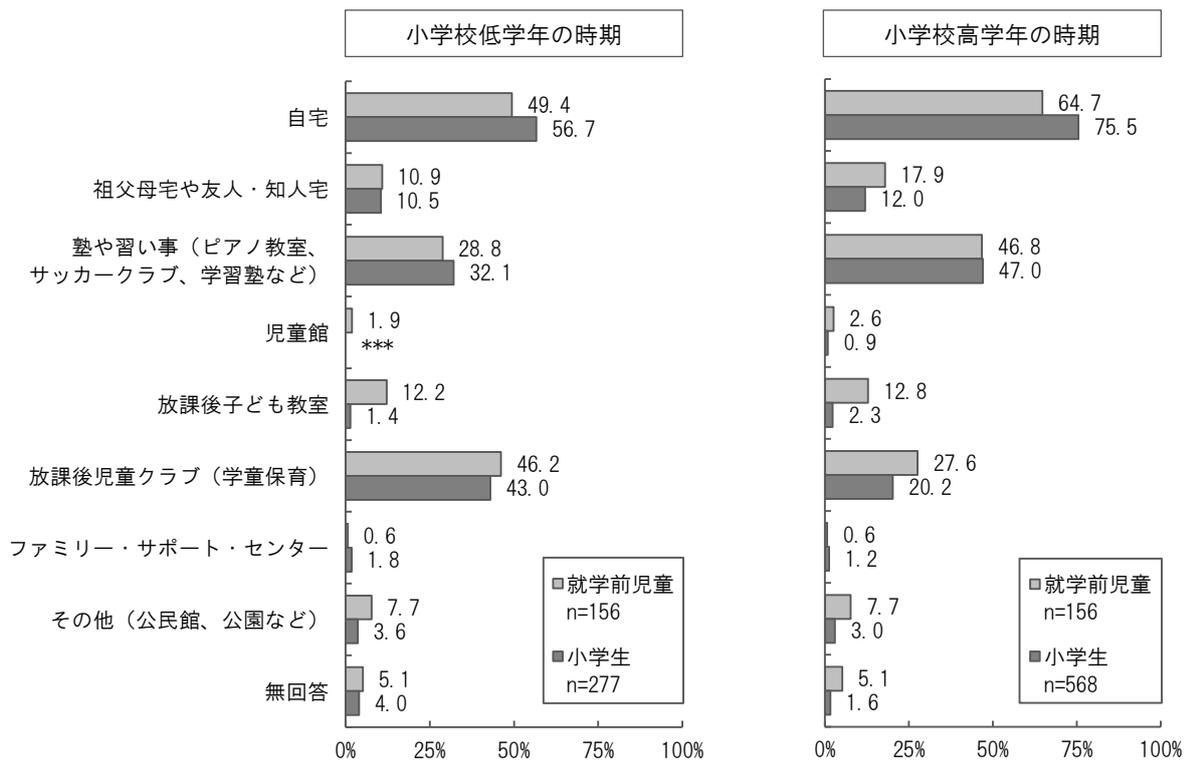
6 放課後の過ごし方について

(1) 平日の放課後の過ごし方について

○放課後の過ごし方の希望をみると、就学前児童の低学年時期は「自宅」(49.4%)が最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」(46.2%)、「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(28.8%)となっています。高学年時期は「自宅」(64.7%)が低学年時期より15.3^{ポイント}上昇して最も高く、次いで「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(46.8%)で18.0^{ポイント}上昇、「放課後児童クラブ(学童保育)」(27.6%)は18.6^{ポイント}低下しています。

○小学生の低学年時期は「自宅」(56.7%)が最も高く、次いで「放課後児童クラブ(学童保育)」(43.0%)、「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(32.1%)となっています。高学年時期は「自宅」(75.5%)が低学年時期より18.8^{ポイント}上昇して最も高く、次いで、「塾や習い事(ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)」(47.0%)が14.9^{ポイント}上昇、「放課後児童クラブ(学童保育)」(20.2%)が22.8^{ポイント}低下しています。

問26[問10]・問27[問11] 放課後の過ごし方の希望《複数回答》

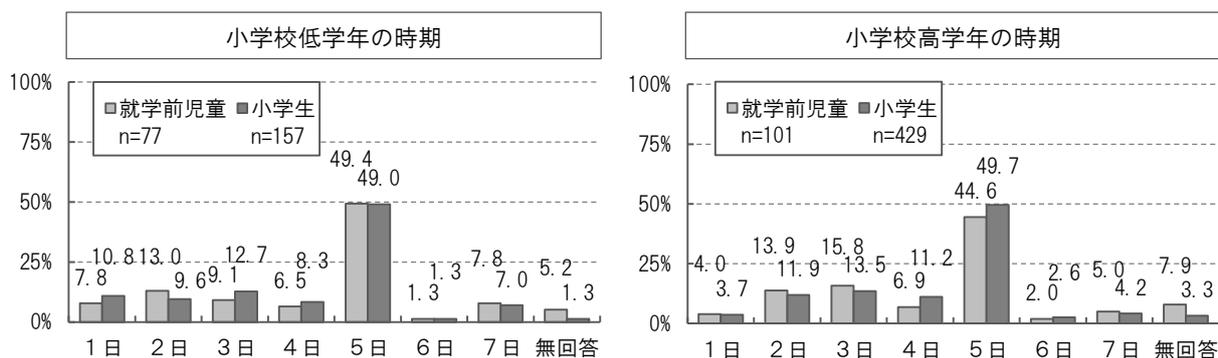


※「小学校低学年」は1～3年生、「小学校高学年」は4～6年生です。
 ※小学生の『小学校低学年の時期』には「児童館」の選択肢はありません。

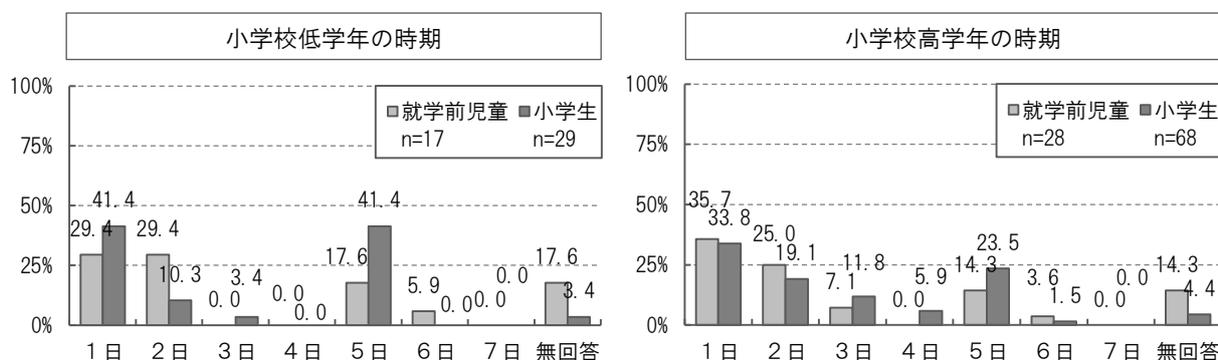
○就学前児童の保護者が放課後を過ごさせたい場所別に、週当たりの希望日数をみると、『自宅』では低学年時期・高学年時期ともに「5日」(49.4%・44.6%)、『祖父母宅や友人・知人宅』では低学年時期は「1日」「2日」(各29.4%)、高学年時期は「1日」(35.7%)、『塾や習い事』では低学年時期は「1日」(40.0%)、高学年時期は「2日」(34.2%)、『放課後子ども教室』では低学年時期・高学年時期ともに「1日」(52.6%・60.0%)、『放課後児童クラブ(学童保育)』では低学年時期・高学年時期ともに「5日」(83.3%・60.5%)が最も高くなっています。他の事業については、以下のとおりです。

○小学生をみると、『自宅』では低学年時期・高学年時期ともに「5日」(49.0%・49.7%)、『祖父母宅や友人・知人宅』では低学年時期は「1日」「5日」(各41.4%)、高学年時期は「1日」(33.8%)、『塾や習い事』では、低学年時期は「1日」(33.7%)、高学年時期は「2日」(35.6%)、『放課後子ども教室』では低学年時期は、少人数となっていますが「2日」(50.0%)、高学年時期は「1日」(46.2%)、『放課後児童クラブ(学童保育)』では低学年時期・高学年時期ともに「5日」(71.4%・67.0%)が最も高くなっています。他の事業については、以下のとおりです。

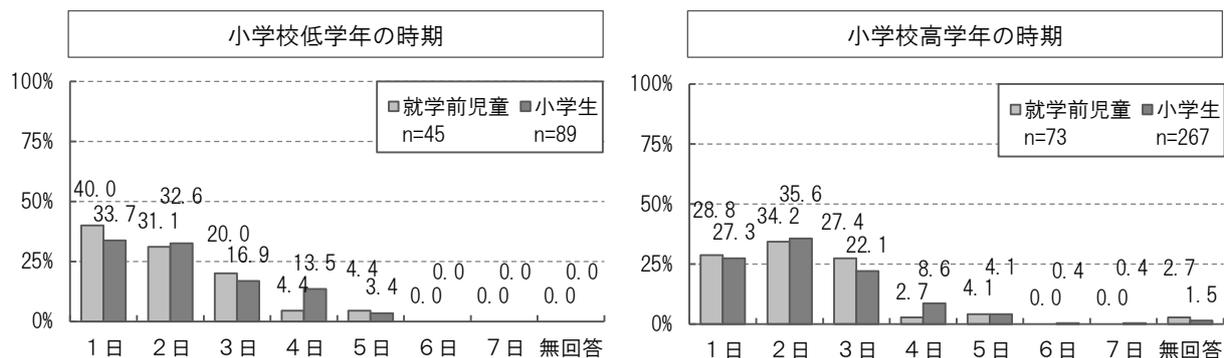
問26.1[問10.1]・問27.1[問11.1] 自宅



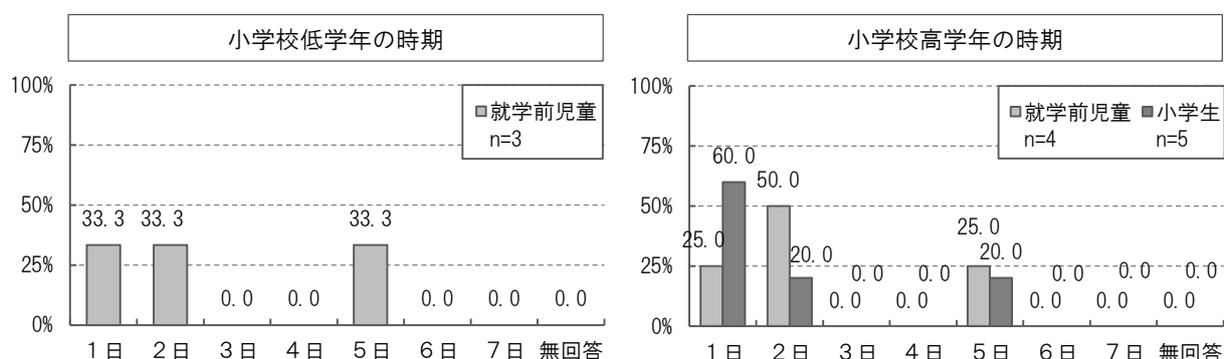
問26.2[問10.2]・問27.2[問11.2] 祖父母宅や友人・知人宅



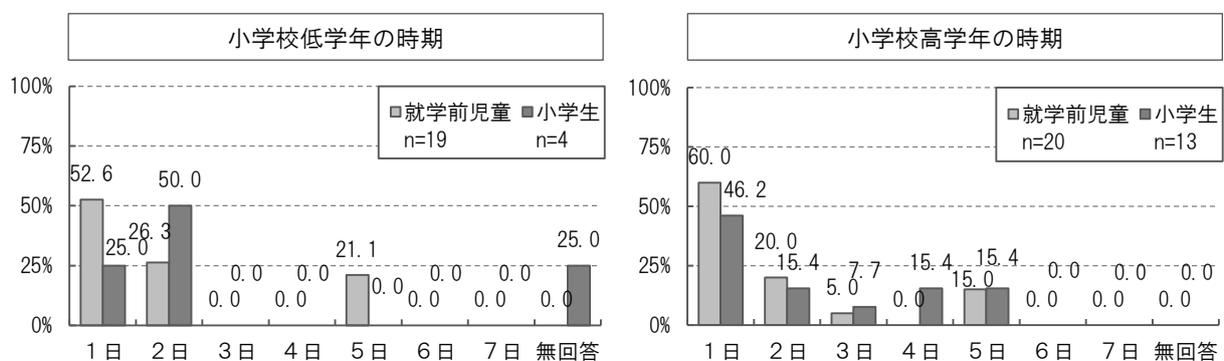
問26.3[問10.3]・問27.3[問11.3] 塾や習い事



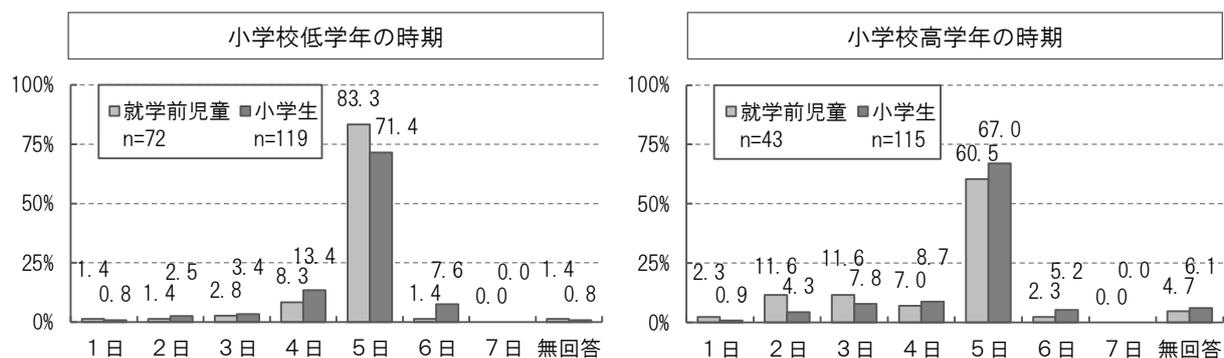
問26.4[問10.4]・問27.4[問11.4] 児童館



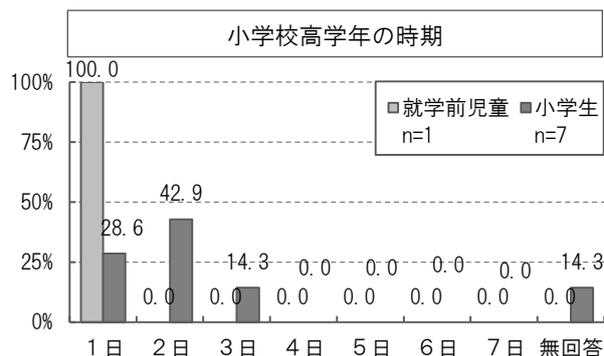
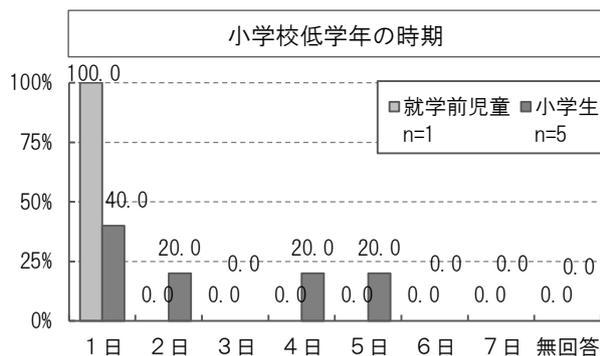
問26.5[問10.5]・問27.5[問11.5] 放課後子ども教室



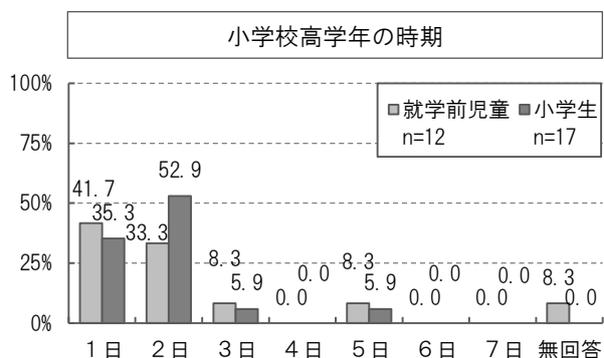
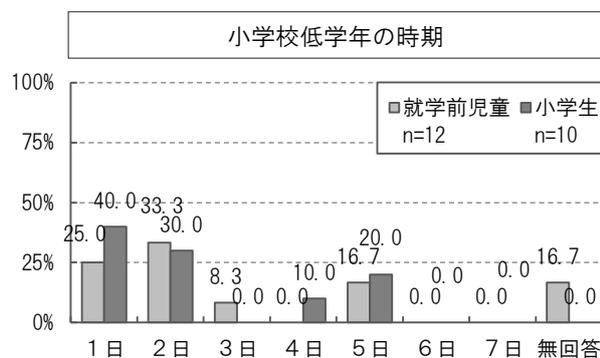
問26.6[問10.6]・問27.6[問11.6] 放課後児童クラブ（学童保育）



問26.7[問10.7]・問27.7[問11.7] ファミリー・サポート・センター

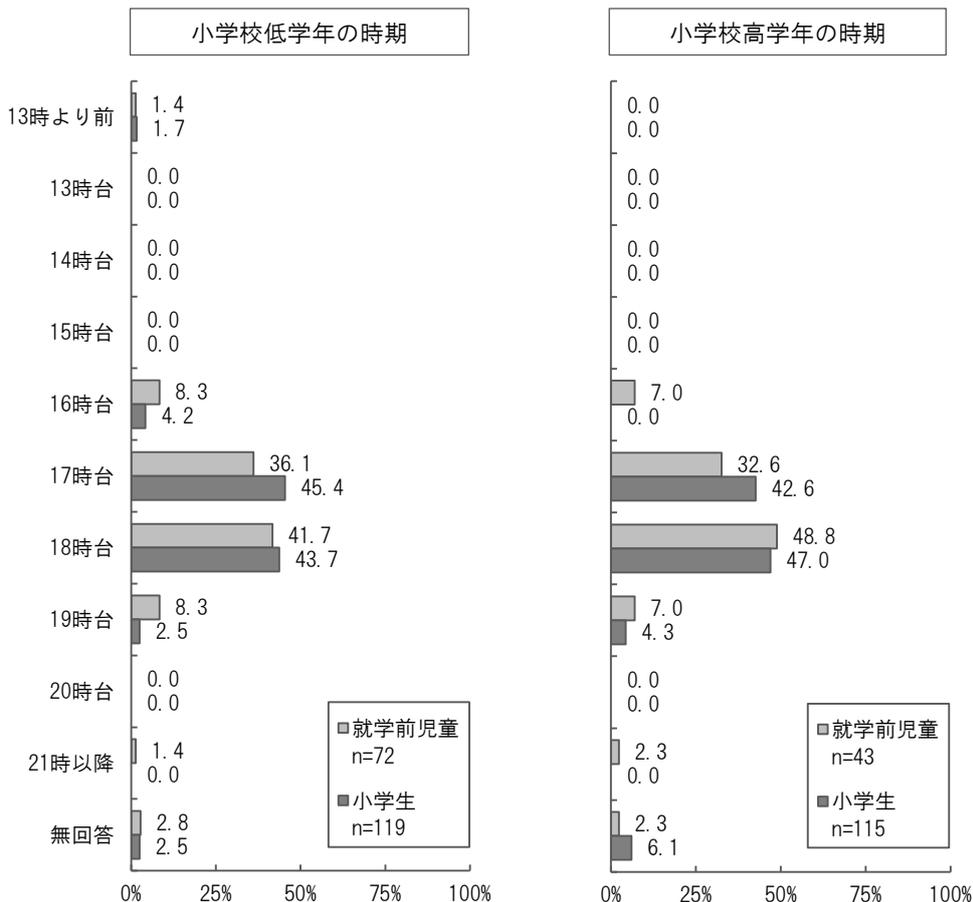


問26.8[問10.8]・問27.8[問11.8] その他（公民館、公園など）



○放課後児童クラブの下校時からの利用希望時間帯をみると、就学前児童では、低学年時期・高学年時期ともに「18時台」(41.7%・48.8%)が最も高くなっています。
 ○小学生では、低学年時期は「17時台」(45.4%)、高学年時期は「18時台」(47.0%)が最も高くなっています。

問26.6[問10.6]・問27.6[問11.6] 「放課後児童クラブ(学童保育)」下校時からの利用希望時間

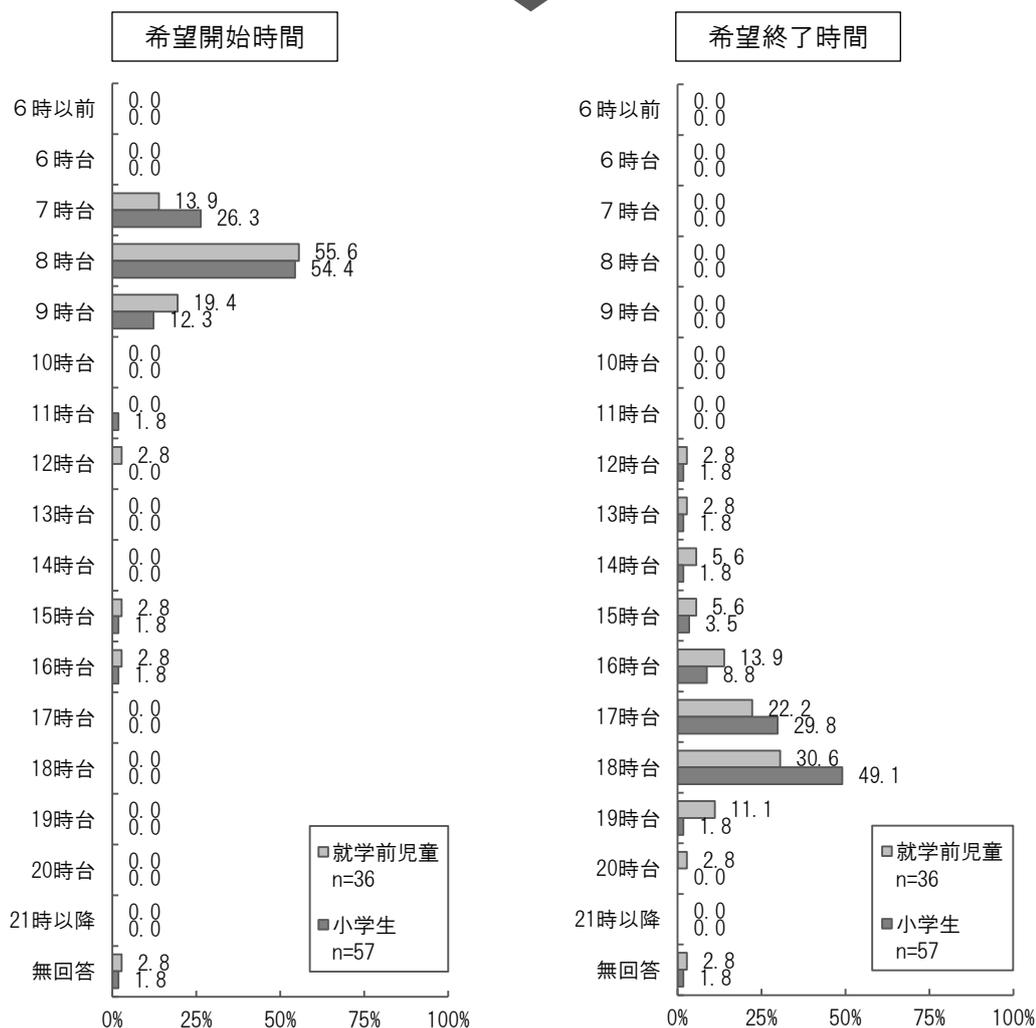
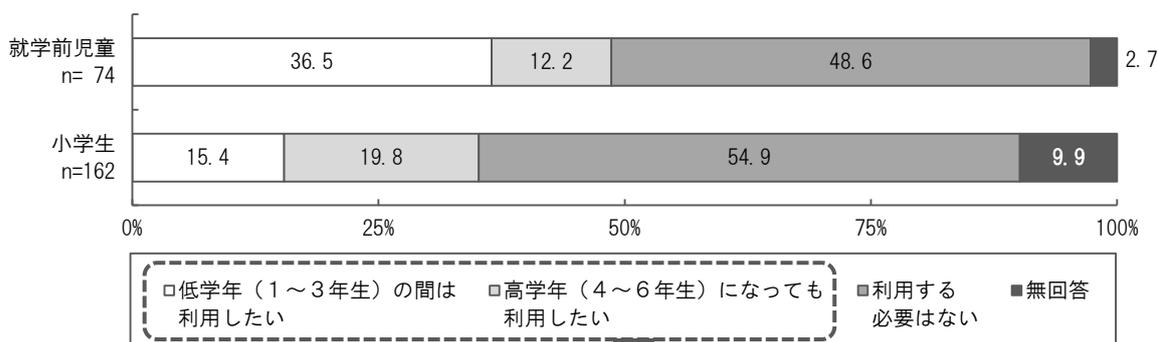


(2) 土曜日と日曜・祝日の『放課後児童クラブ（学童保育）』の利用希望

○『放課後児童クラブ（学童保育）』の土曜日の利用希望をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は就学前児童が36.5%、小学生が15.4%となっています。また、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は就学前児童が12.2%、小学生が19.8%となっています。

○就学前児童・小学生ともに、希望開始時間は「8時台」（55.6%・54.4%）、希望終了時間は「18時台」（30.6%・49.1%）で最も高くなっています。

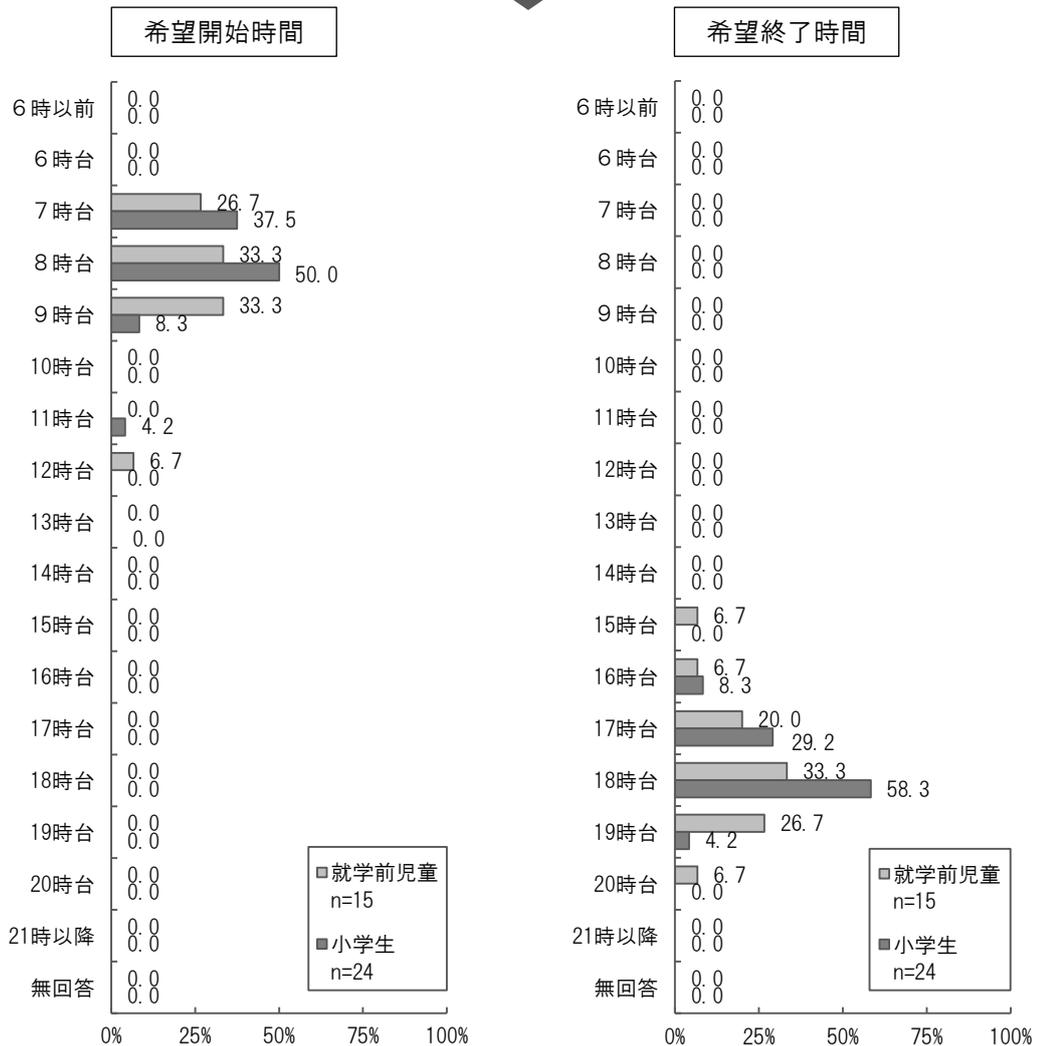
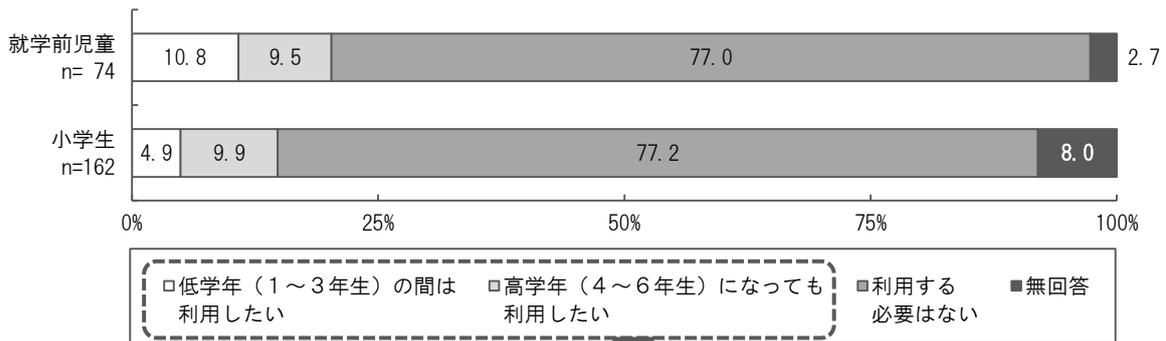
問28(1) [問12(1)] 土曜日の放課後児童クラブの利用希望



○『放課後児童クラブ（学童保育）』の日曜・祝日の利用希望をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は就学前児童が10.8%、小学生が4.9%となっています。また、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は就学前児童が9.5%、小学生が9.9%となっています。

○希望開始時間は、就学前児童では「8時台」「9時台」（各33.3%）、小学生では「8時台」（50.0%）、希望終了時間は、就学前児童・小学生ともに「18時台」（33.3%・58.3%）で最も高くなっています。

問28(2) [問12(2)] 日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望



(3) 長期休業期間中の『放課後児童クラブ（学童保育）』の利用希望

○夏休み・冬休みなどの長期休業期間中の利用希望をみると、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」は就学前児童が58.1%、小学生が32.7%となっています。また、「高学年（4～6年生）になっても利用したい」は就学前児童が35.1%、小学生が53.7%となっています。

○就学前児童・小学生ともに、希望開始時間は「8時台」（62.3%・54.3%）、希望終了時間は「18時台」（40.6%・51.4%）で最も高くなっています。

問29[問13] 長期休業期間中の放課後児童クラブの利用希望

